

分科会



分科会で活発な意見交換をする参加者



■ テーブル：北斗七星 ■

テーマ：社会・経済・産業・医療における地域と大学の連携について考える

分科会テーマ

社会・経済・産業・医療における 地域と大学の連携 について考える

- ① 大学が望む連携と地域が望む連携 –そのギャップ
と共に望む共創–
- ② 地域のより包括的な産学官金連携は可能か？
- ③ ポストコロナ時代を見据えた地域における医療連携

テーマに関連する説明

- 「金沢大学 × 地域」による社会貢献・社会共創・社会実装
- 北陸未来共創フォーラムについて
- 元気が出る附属病院経営改革プラン2022より
- 金沢大学の社会共創
- 意見交換の内容

建設中のバイオマス・グリーンイノベーションセンター
(2022.7.1撮影)



「金沢大学×地域」による社会貢献・社会共創・社会実装

① 県境を越えた広域連携による価値創出と地方創生

- ✓ 産学官金連携プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」の創設

地方国立大学をハブとした産業振興・新産業創出と人材育成に“オール北陸”で取り組み、地方創生のロールモデルを示します



新しい事業、新しい教育、新しい価値。
北陸未来共創フォーラム
産学官金連携による社会貢献・社会共創・社会実装

② 地域に根差した人材の育成と地元定着の促進

- ✓ 「Project: AERU」や「地方創生人材教育プログラム」などによる人材育成・定着

行政や地域企業、他大学とも連携し、地域の現状の理解や将来に対する洞察と、地域特有の課題への対応力・突破力を有する学生を育て、地元に定着させます



地域課題解決や地域活性化に向けた
社会貢献・社会共創・社会実装

③ 自治体や企業と共に取り組む新たな共創拠点づくり

- ✓ バイオマス・グリーンイノベーションセンターや能登海洋水産センターの整備・開設

自治体や企業等からの支援や協力のもと教育・研究活動の一層の活性化に向け、多様な人材やアイデアが行き交う新たな共創拠点づくりを進めます



④ 自治体や企業と共に取り組む実践型課題解決

- ✓ 能登における地域再生リーダー人材の育成
- ✓ 地域企業の課題を解決する中核人材の育成

自治体や企業等とも連携し、課題解決に向けた実践力を高めるためのリカレント・リスキリング教育と、ミドル層の呼び入れ・地域定着を進めます



課題

- ・社会ニーズを把握して連携活動に反映するための「社会との対話」
- ・多種多様な連携の組織化と効果的なネットワークの構築

「金沢大学×地域」による社会貢献・社会共創・社会実装

① 県境を越えた広域連携による価値創出と地方創生

産学官金連携プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」の創設

- 地方創生に向けて“待ったなし”の社会的課題を克服するため、多種多様な北陸のプレイヤーが出会い、交流するための産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」を創設。
- 北陸経済連合会、金沢大学、富山大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学が連携して運営。
- 地方創生を力強く進めるための基盤として、県域を越えて北陸地域全体で産業振興・新産業創出と人材育成を進める。



② 地域に根差した人材の育成と地元定着の促進

「Project: AERU」やCOC+R事業による人材育成・定着

Project: AERU

- 学生を対象に、地域の魅力発信や新商品開発、地域文化体験など、地域をフィールドとした体験型教育プログラムを実施。



地域をフィールドとした
体験型教育プログラム
Project: AERU

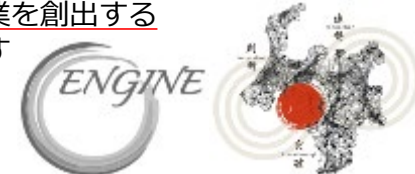
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)

- 平成27年度に採択。石川県内8大学、20自治体、18の企業・団体等が連携して、「いしかわ学生定着推進協議会」を発足。
- 地域理解のため「いしかわで学ぶ未来可能性」を制作。
- 産学官連携によるインターンシップフェスや、学生向け起業塾「いしかわ未来アカデミー」を開催。



地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」(COC+R事業)

- 信州大学を基幹校として令和2年度に採択。
- 信州大学・富山大学と協同し、各自治体、各地域経営者団体・企業等と連携し、地域の基幹産業を創出する原動力となる人材の育成を目指す教育プログラムを構築し実施中。



実績等の活用

「金沢大学×地域」による社会貢献・社会共創・社会実装

③ 自治体や企業と共に取り組む新たな共創拠点づくり

新たなセンター（施設等）の整備・開設

バイオマス・グリーンイノベーションセンター

- 株式会社ダイセルからの支援を受け、新たな産学協働研究拠点の整備を開始。
- 関連する多くの企業や大学、研究機関と連携した“産産学学連携”を強力に推進し、バイオマス研究の世界的拠点形成を目指す。



理工学域能登海洋水産センター

- 能登町との協定のもと、九十九湾岸の建物及び敷地の支援を受け、「理工学域能登海洋水産センター」を整備。
- 立地を活かした教育、実習活動や課題研究を実施するとともに、新産業創出に向けた研究も展開。



金沢大学スポーツ・地域活性化ドリームプロジェクト

- SOLTILO株式会社、金沢市と金沢大学による「金沢大学スポーツ・地域活性化ドリームプロジェクト」のもと、屋外運動施設（グラウンド）を再整備。
- 地域の子供たちを対象としたスポーツ教室やイベント会場としても幅広く提供・活用。



④ 自治体や企業と共に取り組む実践型課題解決

能登の地域再生リーダー人材や企業課題解決人材の育成

能登里山里海SDGsマイスタープログラム

- 過疎化が進む能登地域で、能登学舎（珠州市）を拠点に、世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする地域特有の資源を活かし、地域活性化に貢献できる人材を育成。
- 地域社会の持続可能性を人材養成面から補完。
- 令和3年度までに218名の修了生を輩出。能登地域で活躍する人材を育成するとともに、ひとの集積及び地域再生・活性化に貢献。
- 第7回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2018）文部科学大臣賞 受賞**
- 第三回プラチナ大賞（総理大臣賞）受賞**



共創型企业・人材展開プログラム

- 協同組合全国企業振興センター（IKOC）、株式会社北國銀行と、金沢大学とでコンソーシアムを組成。
- 地域企業の活性化や人材の高度化、地域産業の持続的発展への貢献を目的に、首都圏の中核人材を地域企業にマッチングし、その定着を推進



DIVERSITY×INNOVATION



新しい発見、新しい結合、新しい価値。
北陸未来共創フォーラム
産学官金プラットフォーム for Innovation challenge





基本ビジョン

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等とが
フィジカル空間・サイバー両空間で協業する**北陸産学官金共創システム**を構築

3つの取り組み

北陸地区国立4大学と北陸経済連合会及び北陸の企業・諸団体で構成する
プラットフォーム**「北陸未来共創フォーラム」**を立ち上げる

大学と行政、企業、及び市民が一体的・相互補完的に支え合う
ファンディングシステム・産業クラスターを構築する

「北陸産学官金共創システム」を支える、
ポストコロナ時代の寵児となる人材を輩出する

オール北陸の多様な機関が連携し、人・知・資金を流動させることにより、
北陸から新事業・産業、尖った人材を持続的に生み出す

**「北陸」というスケールメリットをこれまで以上に深く幅広く活かし、
全国の地方創生のロールモデルへ！**



会長：北陸経済連合会会長

運営統括会議

フォーラム全体を運営統括

会長（北陸経済連合会会長）

副会長

4大学学長

一般会員から選出

幹事

4大学理事

一般会員・

自治体会員から選出

実務連絡会

分科会・ワーキンググループでの
地方創生に向けた取組を統括

幹事

4大学理事

一般会員・

自治体会員から選出

北陸経済連合会の
コーディネートのもと
北陸地区国立4大学が
共同して運営を
担うことにより
フォーラムの信頼性・
公益性を担保

主幹会員

北陸経済連合会、
金沢大学、富山大学、福井大学
北陸先端科学技術大学院大学

一般会員

北陸地域に拠点を持つ
営利企業、高等教育機関、
研究機関、公益団体等

自治体会員

北陸地域における
県または市町村
(公設試験研究機関を含む)

**北陸の多様なプレーヤーが出会い、集い、
互いに学びあい、フィードバックしあうことで、
オール北陸で北陸の地方創生・経済振興を推進！！**

北陸未来共創フォーラムの実施体制

(事業1) 全会員向けイベント

全会員向けのイベントに参加し
最先端の知・技術を「知る！」

興味関心のある分科会に参加し
新たな発想等を「学ぶ！」



(事業2) テーマ別分科会・ワーキンググループ

一般会員

北陸地域に拠点を持つ営利企業、
高等教育機関、研究機関、公益団体等

自治体会員

北陸地域における県または市町村
(公設試験研究機関を含む)

未来ビジョンⅠ

経済・産業活性化

北陸地域において
強みを持つ産業

今後飛躍的な成長
が見込める産業

マテリアル分科会 先進的マテリアルや、カーボンニュートラル技術開発に基づいた産業創出・育成に挑戦します！

先端エレクトロニクス分科会 最新のエレクトロニクス技術の利用・応用に基づいた産業創出・育成に挑戦します！

ヘルスケア分科会 未病ケアや健康増進等を含む次世代ヘルスケア産業の創出・育成に挑戦します！

次世代農林水産分科会 ICT・工学分野との融合による農林水産イノベーションに基づいた産業創出・育成に挑戦します！

未来ビジョンⅡ

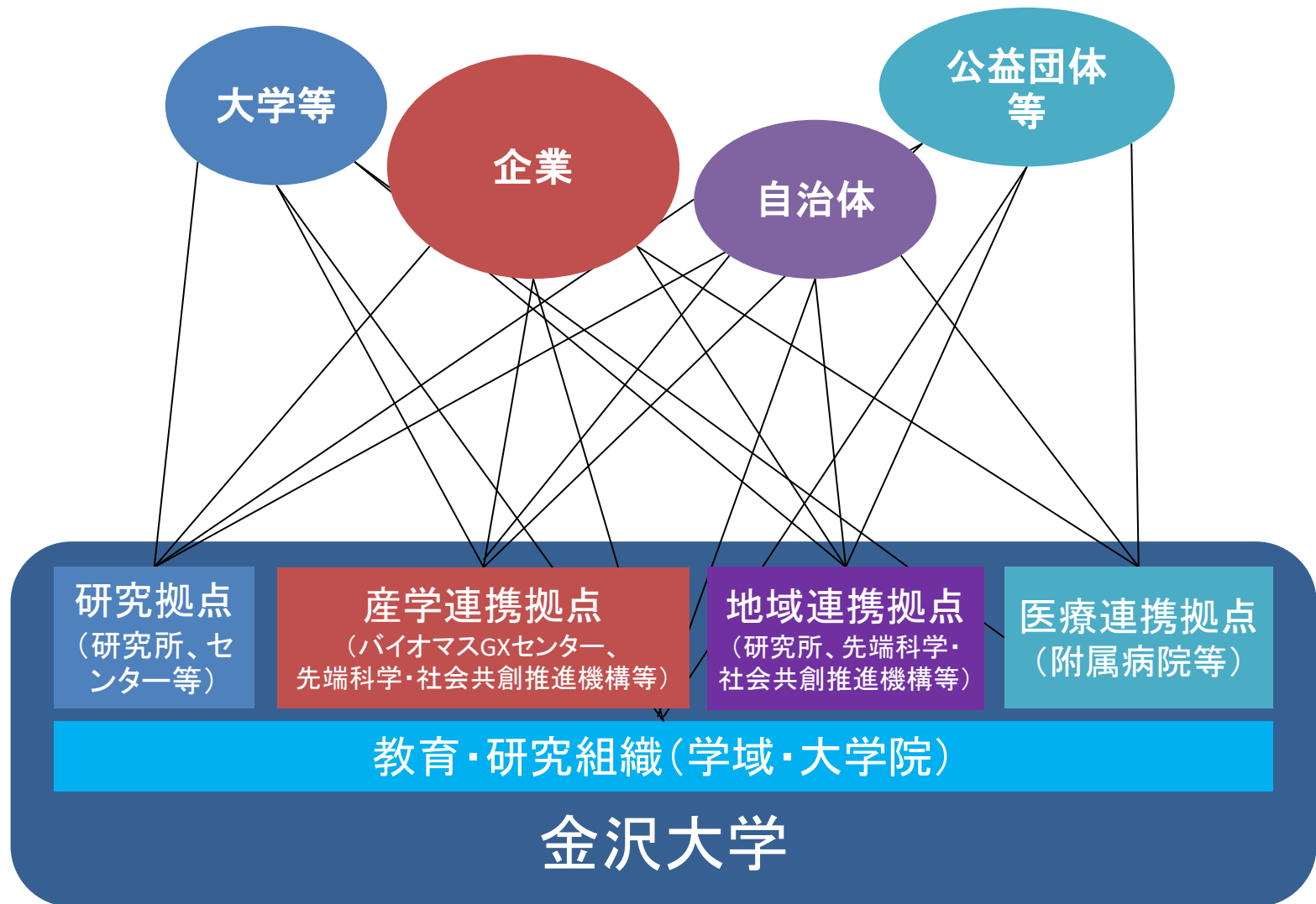
人材育成・地域定着

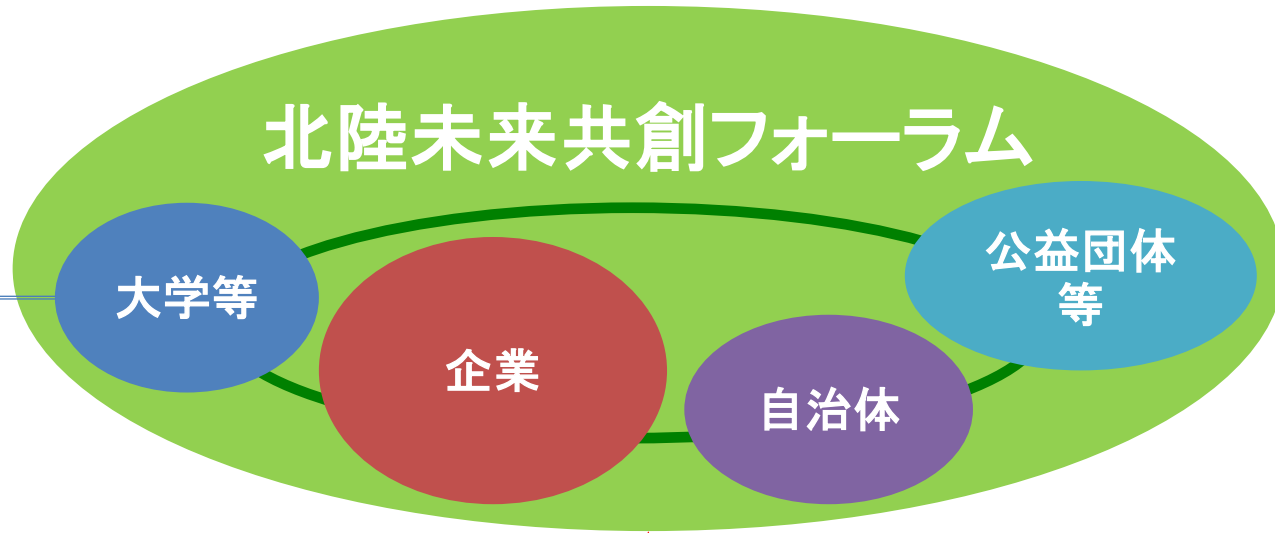
地元人材育成分科会 北陸地域の地元人材の能力開発や、実践的な知見の獲得・醸成に挑戦します！

人材流入・地域定着分科会 都市部や海外など、北陸以外からの人材の呼び込みと地域就業・定着に挑戦します！

- 【役割】北陸地方の**医療供給体制の要**。医療人材の育成供給。
- 診療機能強化
 - **新中央診療棟**による更なる高度医療の展開
 - **感染症への対応**：石川県の要請を踏まえた新型コロナ診療、未知の新興感染症に対応できる機能整備
 - ICTの活用：AIホスピタルMSD研究開発センターとの連携
- その他重点項目
 - 本学に優位性のあるチーム、次世代を担うことが期待される研究チームを選びすぐり集中的に支援。「附属病院版 先魁プロジェクト」
 - **産学連携**による新規診断法や新規治療法の開発
 - メディカルスタッフ及び事務職員の確保並びに育成
 - 研修医等に魅力のある勤務環境の整備
 - **患者満足度の向上** など
- 元気が出る附属病院の実現に向けた将来像
 - 医学、医療に関連する研究支援、**美大移転後の跡地の活用**、将来の附属病院を担う**多様な医療従事者の充実**

部局の中の研究室や教員単位での連携





異分野・異業種の連携・融合
未来知・総合知による社会課題解決
研究成果の社会実装



高度人材育成・地域定着
大学発ベンチャー
ジョブ型インターンシップ・雇用

研究拠点
(研究所、セ
ンター等)

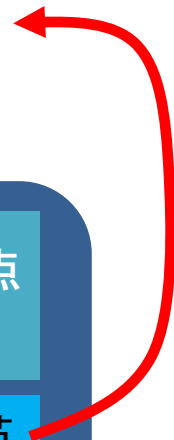
産学連携拠点
(バイオマスGXセンター、
先端科学・社会共創推進機構等)

地域連携拠点
(研究所、先端科学・
社会共創推進機構等)

医療連携拠点
(附属病院等)

教育・研究組織(学域・大学院) 大学院教育改革

金沢大学



意見交換

- ① 大学が望む連携と地域が望む連携 - そのギャップと共に望む共創 -
 - どんなギャップがありますか？解消するには？
- ② 地域のより包括的な産学官金連携は可能か？
 - 北陸未来共創フォーラムに期待すること
- ③ ポストコロナ時代を見据えた地域における医療連携
 - 附属病院改革に期待すること

■ テーブル：こと座 ■

テーマ：金沢大学の広報戦略 ～私達の活動が伝わっていますか？～

令和4年度 ステークホルダー協議会
分科会「こと座」

金沢大学の広報戦略
～私達の活動が伝わってますか？～

ファシリテーター 佐無田 光
本田 光典

大学憲章

大学の基本理念と目標を定めた「大学憲章」の前文
「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を謳う。

本文中で
「東アジアの知の拠点として、グローバル化の進む世界に向けて情報発信する」

「公共に奉仕する国立大学法人としての社会的な説明責任に応える」と定める。

大学憲章



広報戦略の策定

H26年9月 大学改革推進委員会

この理念と目標に基づき

教育，研究，診療及びこれらの活動を通じた社会貢献の取り組みやその成果を国内外に積極的に発信することで、**金沢大学ブランドを確立する**ことが重要。理念の実現には

同時に，大学運営に係る情報開示に努め，**社会的責務を果たす**ことが不可欠。

本学の**広報戦略**を定め、部局間の情報資源の共有及び緊密な連携により、大学広報に係る諸活動を積極的かつ効率的に実施し、「**世界に誇る金沢大学の実現**」に広報戦略の面でチャレンジする。



広報に関するマニュアル等

全学の広報戦略に加え、情報提供の基本理念・基本方針、その他広報に関する情報をまとめています。

広報戦略の基本方針

- (1) 本学が育成しようとする**人材像**及び**特色ある教育内容を社会に周知**する。
- (2) 創造した「知」を**世界と地域へ発信**する。
- (3) **ステークホルダーとの連携強化**を意識した情報発信を推進する。
- (4) 法令において公表が義務付けられた情報を公開し**社会的な説明責任**を果たす。
- (5) 綿密な連携により**学内の情報資源の共有**及び**効果的な広報活動の展開**を図る。



各種ポリシー



特色ある取り組み



情報公開



広報に関するマニュアル等

広報戦略の行動計画

(1) 高校生や保護者等に対する見える化を図る。

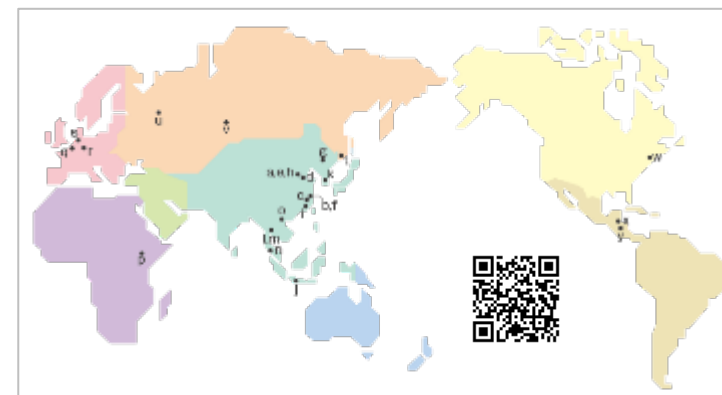
- ・ **ウェブサイト**による**教育情報**の公開を行う。
- ・ **広報誌**による**教育内容**、**学生生活**及び学生の街**金沢の魅力**を紹介する。
- ・ 地元**新聞**や重点学生募集地域の新聞への**大学情報**掲載の働きかけを行う。
- ・ 大学紹介**フェアの実施**や広報物の**常設展示**を行う。
- ・ 高校への**説明会**や**出張講義**を積極的に行う。
- ・ 高校生等に**分かりやすい記事執筆**を心がける。
- ・ **海外**の高校生、保護者、高等学校等に向けた情報発信を積極的に行う。



広報戦略の行動計画

(2) “攻めの広報”により**研究成果**を積極的かつグローバルに発信し、**ブランド化と見える化**を図る。

- ・ **ウェブサイト**による研究成果の**定期**及び**随時発信**を行う。
- ・ **広報誌**による研究紹介を行う。
- ・ **シンポジウム**、**セミナー**による研究発表を行う。
- ・ **全国紙**への研究成果掲載の働きかけを行う。
- ・ **海外リエゾンオフィス**での研究紹介を行う。
- ・ **サイエンスライター**による研究者インタビュー及び記事執筆を行う。
- ・ **外国語**による情報発信を積極的に行う。



海外リエゾンオフィス (25箇所)

広報戦略の行動計画

(3) 診療の見える化を図る。

- ・ウェブサイトによる**附属病院の基本理念・基本方針**の公開を行う。
- ・**広報誌**による**臨床研究及び先端・先制医療**の紹介を行う。



(4) 地域社会との関係強化を図る。

- ・地域社会の**課題解決**に資する情報発信に努める。
- ・社会人の**学びの場**としての情報発信を行う。



(5) 信頼性の向上を図る。

- ・情報開示請求に対する**迅速かつ適切**な対応を行う。



(6) 広報効果の検証を行う。

- ・広報体制・計画・方策の**検証**及び検証結果に基づく**改善・強化**を行う。

広報の連携体制

- ・ **広報室**は、**全学的な広報業務を担う**とともに、各部局等における**広報活動を把握・集約**し、必要に応じ調整する。
- ・ **部局の広報担当係**は、担当部局等の**広報活動を担う**とともに、**広報室へ報告・相談**を行う。
- ・ **教職員**は、**戦略的な広報活動の重要性を認識**したうえで、各種**マニュアルを活用**して**統一した活動**を実施する。
- ・ **外国語**による情報発信は、**国際機構と協力**して、**異文化に対する理解と配慮**をもって行う。



広報活動の実際

1. Webページを充実

数多の情報を様々なカテゴリーで表示

数多の情報を様々なカテゴリーで表示

入試情報・ニュース・研究トピックを随時発信

チャットボット（自動会話プログラム）導入による効率化

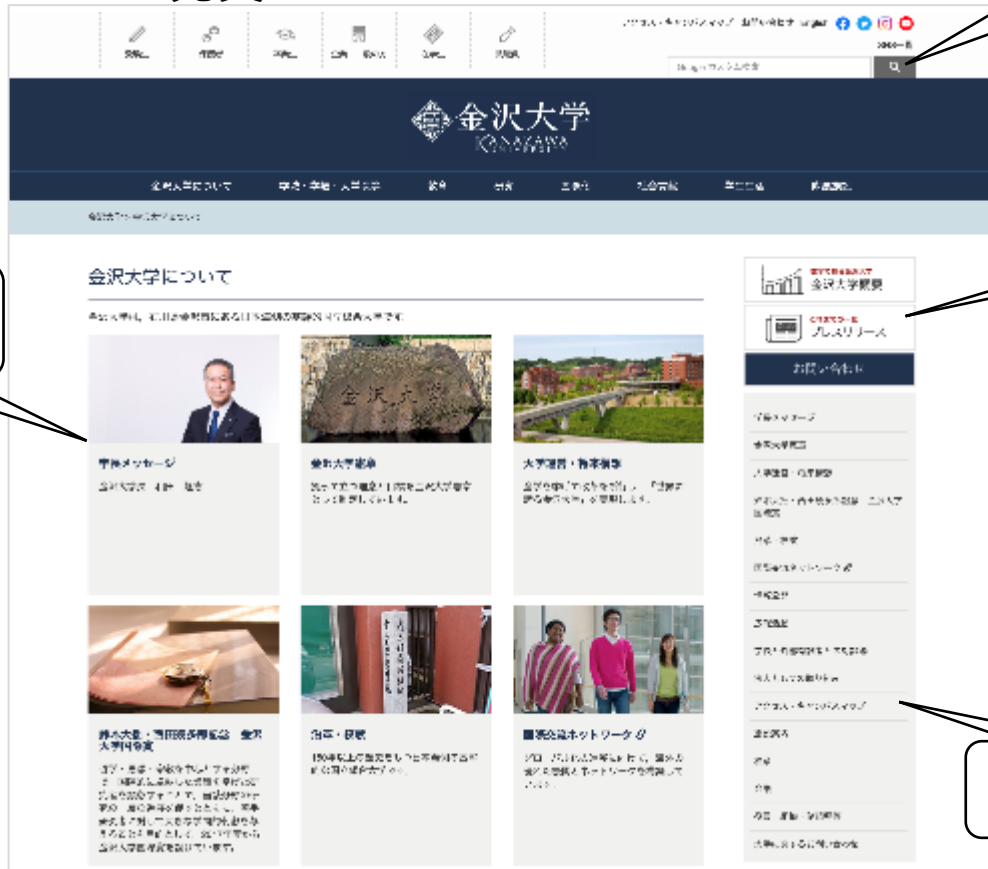


大学Webサイト



広報活動の実際

1. Webページを充実



Googleカスタム検索

バナーによる明示

階層構造による見やすい構成

各階層をリスト化

広報活動の実際

1. Webページを充実



受験生向け特設サイトを設置

高校生・受験生の方へ

- ・ 入試に関する情報
- ・ 金沢大の魅力
- ・ 学域・学類の紹介
- ・ オープンキャンパスや
進学相談会のスケジュール
- ・ 学生生活や
就職・資格に関する情報
- ・ 高校生向けプログラムの情報

等をお届けします。

広報活動の実際

2. 動画配信, SNSの活用
入学宣誓式, 学位記授与式,
大学紹介等の動画
YouTube, Facebook等



金沢大学SNS一覧



3. 広報誌を充実 (電子化も)



大学案内

教育の仕組みや
育成する人材像,
海外留学制度,
4学域20学類の概
要, 学生生活等を紹
介



学類 パンフレット

各学類の
カリキュラム,
コース,
進路情報などを紹
介



私たちの 金沢大学

大学を支えて
くださる皆様に
「大学の今」を
紹介



大学概要

大学憲章や
トピックスに加
え, 部局紹介や
各種データを掲載



データパンフ

大学の主要データを
大学概要等から抜粋
数字などを用いて
わかりやすく紹介



キャンパス マップ

角間キャンパス,
宝町・鶴間キャンパスの
見どころを紹介



広報誌 Acanthus

教育, 研究, 社会貢献
などの活動に加え,
現役学生の学びや
サークル活動の様子
など, 本学の旬な
情報を伝える



財務レポート

本学の財務状況を
分かりやすく紹介

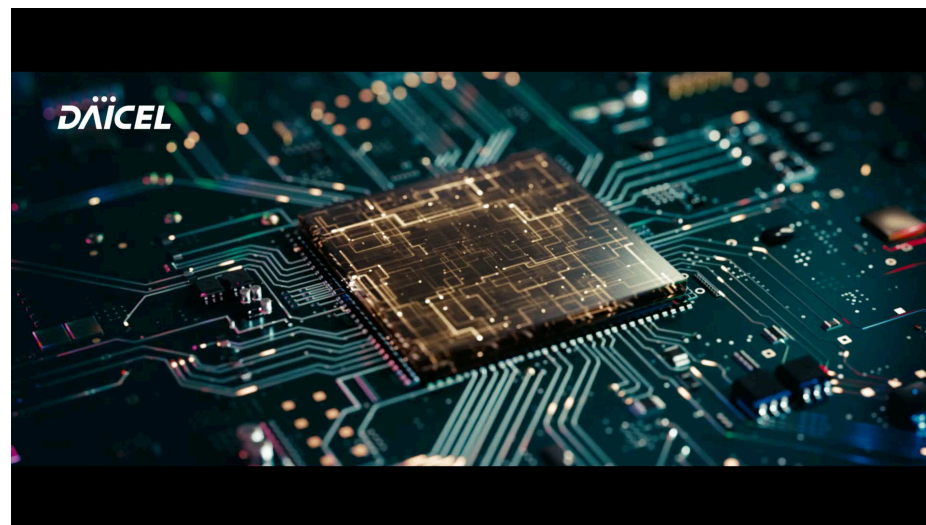
広報活動の実際

4. TV番組, CMの放送



「ココカラ ～世界を変えるイノベーション～」
北陸放送 毎週水曜日 22時57分～23時00分

株式会社ダイセル 「愛せる未来、創造中。」を
キャッチフレーズにしたTVCMを2022年4月より展開



広報戦略の見直しの必要性

コロナ禍をはじめ、これまでの想定を上回る社会問題が顕在化し、社会変革が進む中、根本的な**戦略の見直し**も必要

増え続けるステークホルダーの**変化を捉えたい**

意見などを調査・分析し、本学が置かれている状況を把握

どのような情報が伝わっていますか？

どのような情報が必要ですか？

どのような手段が望ましいですか？

広報活動だけでなく、大学の更なる**改革・発展**にもつなげる



今後の検討事例

SNSの活用

スマホ、インターネットの普及により、社会に発信される情報は、10年前と比較して530倍（総務省調べ）。

従来の手法より費用対効果が格段にあがる**共感と呼ぶコンテンツ**

双方向コミュニケーション

ブランディング

教育・研究や社会貢献に対する印象を浸透させると同時に、構成員へのブランドイメージの浸透

インパクトある広告

おわりに

頂戴した**ご意見・ご要望**を
教育・研究・運営に反映させて、
ブランド力を育てつつ、
皆様との**信頼を築きあげる**ことで、
大学の発展につなげたいと
考えています。

引き続き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



■テーブル：わし座■

テーマ：「金沢大学の高大接続」

ステークホルダー協議会 分科会「わし座」

「金沢大学の高大接続」

令和4年7月2日

理事（教育・高大院接続・大学院改革・情報担当）/副学長

森本 章治

学長補佐（入試・学生募集・高大院接続・大学院改革担当）

山本 茂



テーマについて

金沢大学の高大接続

- ① 中高生対象の理工系教育の取組
- ② KUGS 高大接続プログラム

- 金沢大学の教育組織改革，入試改革
- KUGS特別入試
- KUGS高大接続プログラム
- 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス(GSC)
- 金沢大学ジュニアドクター育成塾
- 金沢大学コンテストと超然特別入試

地域と社会に開かれた教育重視の研究大学

教育組織改革

2008年 学部学科から3学域16学類に移行。

2018年 理工学域改組。3学域17学類に。

2021年 融合学域 先導学類新設。4学域18学類に。

2022年 融合学域 観光デザイン学類新設。19学類に。

2023年 融合学域 スマート創成科学類（仮称）新設。20学類に。

金沢大学の教育組織 学域・学類 (令和4年度～)

融合学域	人間社会学域	理工学域	医薬保健学域
<p>R3年新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 先導学類 (3コアエリア) <p>R4年新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光デザイン学類 (3コアエリア) <p>設置申請中</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート創成科学類 (仮称) (3コアエリア) 	<ul style="list-style-type: none"> 人文学類 (7プログラム) 法学類 (3コース) 経済学類 (2コース) 学校教育学類 共同教員養成課程 (富山大学との共同教育課程) R4年設置 地域創造学類 (5プログラム) 国際学類 (10プログラム) 	<ul style="list-style-type: none"> 数物科学類 (4プログラム) 物質化学類 (6プログラム) 機械工学類 (3コース) フロンティア工学類 (6プログラム) 電子情報通信学類 (2コース) 地球社会基盤学類 (3コース) 生命理工学類 (3コース) 	<ul style="list-style-type: none"> 医学類 (6年制) 薬学類 (6年制) 医薬科学類 R3年新設 (2コース) 保健学類 (5専攻) <ul style="list-style-type: none"> 看護学専攻 <p>R4年名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療放射線技術学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻

基礎を学んでから専門領域を決める「経過選択制」(医・薬・保健学類を除く)

2年次以降にコースに移行またはプログラムを選択するなどして専門を深める

地域と社会に開かれた教育重視の研究大学

入試改革

2018年度入試

文系後期一括入試，理系後期一括入試。

理工3学類一括入試。

2021年度入試

後期日程廃止。一括入試を前期日程に移行。

KUGS特別入試，超然特別入試 etc.

金沢大学 人材育成の指針

金沢大学 〈グローバル〉スタンダード (Kanazawa University "Global" Standard)

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り, 自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる

6つの基準で, これからの社会で中心的役割を担うために身につけるべき能力を示す

KUGS特別入試が求める人材

「基礎的知識・技能を修得し、それらを活用して自ら課題を発見し、探究する能力を備えている人」、「将来に明確な目標を持っており、主体的に行動し、他者と協働しながら、自身の夢を実現しようとする強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

令和4年度入試状況 KUGS特別入試（口述試験必須）（）は令和3年度

総合型選抜Ⅰ・Ⅱ 2浪まで

学類	共通テ 得点基準	1次選 考倍率	口述試験 以外科目	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数	
先導	○	-	小論文	6 (2)	4 (4)	0.7 (2.0)	4 (4)	4 (3)	1.0 (1.3)	4 (3)	
観光デザイン	○	-	小論文	若干名 (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	1.0 (-)	2 (-)	
人文	○	-	小論文	5 (5)	8 (5)	1.6 (1.0)	8 (5)	5 (4)	1.6 (1.3)	5 (4)	
法	○	-	-	10 (10)	13 (12)	1.3 (1.2)	13 (12)	9 (9)	1.4 (1.3)	9 (9)	
学校教育	石川県教員希望枠	○ 75%	-	3 (3)	2 (4)	0.7 (1.3)	2 (4)	0 (1)	0.0 (4.0)	0 (1)	
	教科・ 免許状 枠	美術	○ 60%	実技	3 (3)	3 (3)	1.0 (1.0)	3 (3)	3 (3)	1.0 (1.0)	3 (3)
		保健体育	○	-	5 (5)	7 (1)	1.4 (0.2)	6 (1)	5 (1)	1.2 (1.0)	5 (1)
		家政	○ 65%	-	3 (3)	2 (0)	0.7 (0.0)	2 (0)	2 (0)	1.0 (0.0)	2 (0)
		特別支援	○ 60%	-	4 (4)	3 (5)	0.8 (1.3)	3 (5)	2 (4)	1.5 (1.3)	2 (4)
地域創造	○	-	-	15 (15)	10 (19)	0.7 (1.3)	10 (19)	9 (10)	1.1 (1.9)	9 (10)	
国際（共通テストを課さない）	X	1.5~2	英語外部試験	20 (20)	44 (26)	2.2 (1.3)	29 (24)	20 (18)	1.5 (1.3)	20 (18)	
数物科	○ 65%	3	-	3 (3)	7 (3)	2.3 (1.0)	7 (3)	3 (3)	2.3 (1.0)	3 (3)	
物質化	○ 65%	2	-	3 (3)	4 (0)	1.3 (0.0)	4 (0)	1 (0)	4.0 (0.0)	1 (0)	
機械工	○ 65%	3	-	3 (3)	5 (1)	1.7 (0.3)	5 (1)	3 (1)	1.7 (1.0)	3 (1)	
電子情報通信	○ 65%	3	-	3 (3)	5 (0)	1.7 (0.0)	5 (0)	3 (0)	1.7 (0.0)	3 (0)	
地球社会基盤	○	-	-	3 (3)	5 (2)	1.7 (0.7)	5 (2)	3 (2)	1.7 (1.0)	3 (2)	
生命理工 海洋生物資源コース	○ 55%	3	-	3 (3)	5 (1)	1.7 (0.3)	5 (1)	3 (1)	1.7 (1.0)	3 (1)	

英語総合選抜Ⅱ 2浪まで

学類	共通テスト	口述試験以外科目	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
先導	○	口述(英語), 筆記「総合問題(英語)」	若干名(2)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
観光デザイン	○	口述(英語), 筆記「総合問題(英語)」	若干名(-)	1(-)	1(-)	1(-)	1.0(-)	1(-)

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ 現役のみ

学類		共通テスト 得点基準	1次 倍率	口述試験以外 科目	1校推 薦人 数	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
経済 (共通テストを課さない)		X	-	TOEIC, 小論文	2	10(10)	11(9)	1.1(0.9)	11(9)	10(9)	1.1(1.0)	10(9)
学校教育	教科枠	国語・社会科・英語	○70%	-	2	2(2)	7(2)	3.5(1.0)	7(2)	2(1)	3.5(2.0)	2(1)
		数学・理科	○60%	-	2	1(1)	2(0)	2.0(0.0)	2(0)	1(0)	2.0(0.0)	1(0)
		音楽	○60%	-	実技, 筆記	2	4(4)	5(5)	1.3(1.3)	5(5)	4(4)	1.3(1.3)
地球社会基盤 地球惑星科学コース		○60%	-	-	5	5(5)	1(1)	0.2(0.2)	1(1)	0(1)	0.0(1.0)	0(1)
医	一般枠	○85%	2	-	-	15(15)	26(15)	1.7(1.0)	17(6)	15(6)	1.1(1.0)	15(6)
	特別枠	石川県枠	○85%	-	-	10(10)	15(12)	1.5(1.2)	10(6)	10(6)	1.0(1.0)	10(6)
		富山県枠				2(2)	2(0)	1.0(0.0)	2(0)	2(0)	1.0(0.0)	2(0)
保健	看護学専攻	○65%	-	-	1	14(14)	15(10)	1.1(0.7)	15(10)	14(6)	1.1(1.7)	14(6)
	診療放射線技術学専攻	○65%	-	-	2	3(3)	8(6)	2.7(2.0)	8(6)	3(3)	2.7(2.0)	3(3)
	検査技術科学専攻	○65%	-	-	2	6(6)	9(5)	1.5(0.8)	9(5)	3(3)	3.0(1.7)	3(3)
	理学療法学専攻	○	-	-	1	5(5)	2(5)	0.4(1.0)	2(5)	0(4)	0.0(1.3)	0(4)
	作業療法学専攻	○	-	-	2	5(5)	4(0)	0.8(0.0)	4(0)	2(0)	2.0(0.0)	2(0)

KUGS特別入試 平成3(2021)年度入試より導入

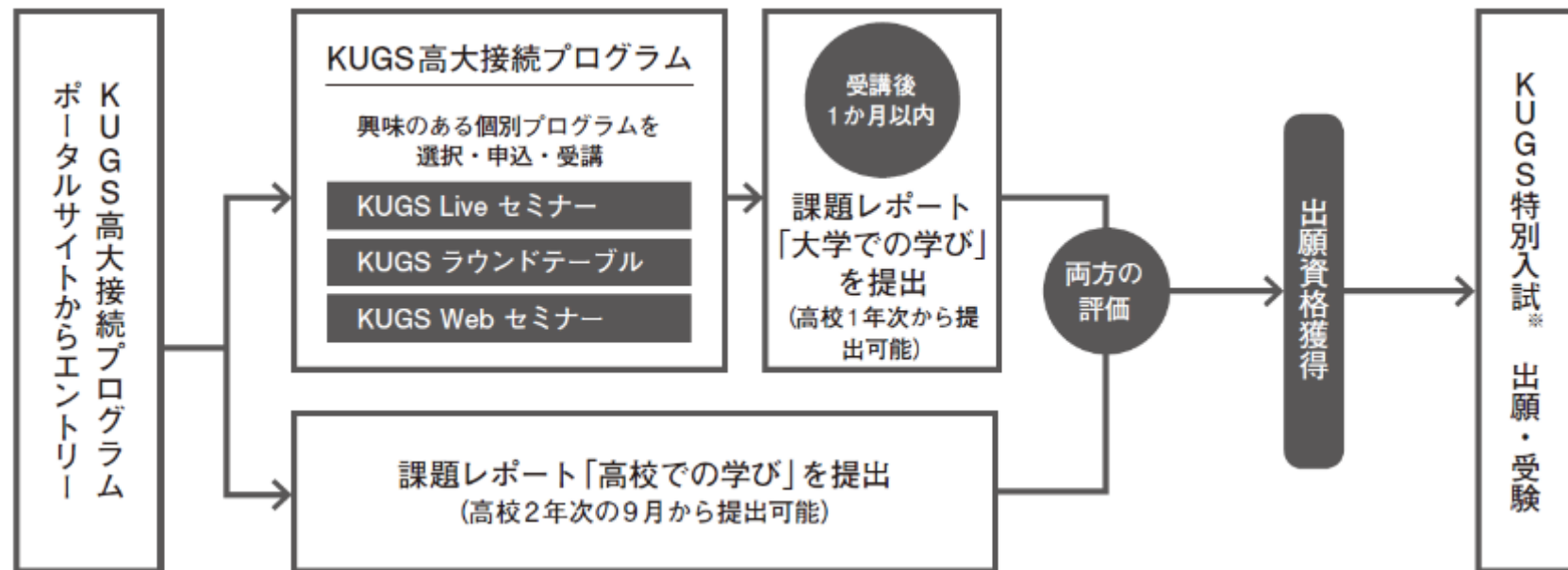
- 総合型選抜 I・II
- 英語総合選抜 II
- 学校推薦型選抜 I・II

出願資格・推薦要件

- ① KUGS 高大接続プログラムの修了他
または
- ② GSCの第一段階の修了他

KUGS特別入試 ①KUGS高大接続プログラムから出願

KUGS高大接続プログラムを受講し、課題レポート「大学での学び」及び「高校での学び」を両方とも提出し両方が評価基準を満たせば出願資格を獲得。



KUGS高大接続プログラム



「金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）」の能力が身に付くように開発した本学独自の高大接続プログラム。

① KUGS Liveセミナー〈対面参加型〉

様々な分野の知見を大学教員から直接学ぶことができます。
金沢大学サテライト・プラザなどで開講しています。

② KUGS Webセミナー 〈Web視聴型〉

KUGS高大接続プログラムポータルサイトを通じて、
いつでもどこからでも何回でも視聴可能です。

③ KUGSラウンドテーブル〈対面又はオンライン参加型〉

話題提供者のテーマにより自由に意見を交換しながら議論し、
小グループ内で発表を行い、学修の振り返りを行います。

3504

【要申込】今さら人に聞けないリハビリテーション

“リハビリテーション”という言葉は、“リハビリ”と略されて使われることが多いのが現状です。ほとんどの方々は、理学療法士、作業療法士などが患者さんを治療することを“リハビリテーション”と認識しているのではないかと思います。

本講演では、“リハビリテーション”の本来の意味をその語源を踏まえて分かりやすく解説します。

また、理学療法と作業療法に焦点を当てて、これらの違いとそれぞれの療法のどのようなことをしているのかについて実際の例や最近注目されていることを挙げながら具体的に説明します。



医療・健康

KUGS

開催日時	7月24日（日）14:00～15:30
開催場所	金沢大学サテライト・プラザ（金沢市西町三番丁16）
受講対象	高校生から一般
受講料	無料
定員	40名
プログラム	“リハビリテーション”と聞いて何を想像しますか？病気やケガによる機能低下を改善するための後療法だと思ふ人が多いのでは？リハビリテーションの語源や最近注目のリハビリテーション医療について解説します。
講師	浅井 仁（医薬保健研究域・保健学系 教授）
申込み期限	2022/07/22

連絡事項等

【KUGS高大接続プログラムのお申込みについて】

この講座は、KUGS高大接続プログラム対象講座です。

（受講対象：高校生等）

本プログラムの対象講座として受講を希望する高校生等は、下記KUGS高大接続プログラムWebサイトから利用者登録の上お申込みください。

※申込フォームにKUGS利用者登録時に取得した「KUGS ID」を入力ください。

KUGS高大接続プログラムWebサイト
<https://kugspro.adm.kanazawa-u.ac.jp/>

ご不明な点等につきましては、金沢大学高大接続コア・センターまでお問合せください。

金沢大学高大接続コア・センター
 MAIL : kugspro@adm.kanazawa-u.ac.jp

Webセミナー 一部抜粋

- 22W0011 海外学術調査レポート2022① 韓国編－日韓の環境研究：おとなりさんと似ているところ、違うところ－ **NEW**
- 22W0010 日本の映像文化とLGBTQ+ **NEW**
- 22W0009 石川県はなぜ〇〇〇の名産地になったのか？ **NEW**
- 22W0008 現代世界における経済史
- 22W0007 法学の教授に「知的財産」を語らせてみたら
- 22W0006 日本語文学の汽水域 ブラジル日系文学に学ぶ
- 22W0005 疫学・保健統計学の誘い①～③
- 22W0004 方言景観
- 22W0003 美と愛と豊穡の女神:バナジウム元素の化学
- 22W0002 渤海国の歴史－その概要と歴史的な位置づけ－
- 22W0001 川の水に医薬品が含まれているって本当？
- 21W0012 スイス史再考 －14世紀のはじめ－

第7回金沢大学高大接続ラウンドテーブル



未来へ繋ぐ探求

～知識基盤社会で活躍するための探求学習とは～

参加費
無料

R4
2022
3/25 金
13:00～16:00

オンライン
により開催!!

※スマートフォンではなく、
パソコン利用による参加を推奨



第7回高大接続ラウンドテーブル「未来へ繋ぐ探求」

1. 探求学習を通して身についたこと

- ・情報収集、プレゼンテーションの力や技術が身についた
- ・多角的に考える力が身についた
- ・普段、かかわることがない人たちとかわることができた
- ・社会のことを学ぶという意欲が高まった
- ・未来を大切にする気持ちが深められた

3. 今後の探求学習への期待

- ・私たち高校生との話を聞いてくれる場所がもっと欲しい
- ・地域の人びとのかかわりをもっと濃くしてほしい

4. 私たち高校生がすべきこと

- ・探求学習で得たことを発信する
- ・探求学習をおこなっている生徒間でコミュニティを作る
- ・探求学習を発表する場を設ける

2. なぜ探求学習は必要か？

- ・専攻、社会に出たときに必要となる力を養えるから
- ・立場が違う人たちとかわる経験を広めるから
- ・メディアリテラシーが身につくから

第7回目となる今回は、「知識基盤社会で活躍するための探求学習」のあり方をテーマに、ラウンドテーブルを開催しました。全国各地から集まった11名の高校生は、小規模なグループに分かれ、活発に意見交換しました。前半はそれぞれの探求学習やそのプロセスを紹介し、後半は前半の意見交換を踏まえて、「知識基盤社会で活躍する人材となるためにはどのような学びが必要か」、「自身の将来へとつなぐ探求とは何か」などについて、グループで意見をまとめ、全体発表を行ないました。各グループともに、経験や工夫、失敗談を共有することで、探求学習についてより深く考えることができたと思います。

参加者からは、「他の地域の方とディスカッションを行うことで、今日まで私が持っていた考えなどを壊すことができました」、「他の県の子とも意見交換ができて充実していたと思います。楽しく交流できました」などのコメントが寄せられました。

「大学での学び」課題レポート

受講した**KUGS 高大接続プログラム**の振り返りを行い，そこで学んだことについて課題レポートを作成し，提出してください（1,000～1,400字）。

『本文』には，初めに「**受講した個別プログラムの要約**」を200～300字程度で記してください。

その上で，「**受講して気づいた課題（問題）**」と「**その課題（問題）を解決するために必要と思われる方策**」について，あなた自身の考えを根拠に基づき具体的にまとめてください。

「高校での学び」課題レポート

あなたが**高校生活の中で課題意識を持って解決に取り組んでいる学び**について、課題レポートを作成し、提出してください（1,000～1,400字）。

『本文』には、あなたが「**その課題を発見した経緯**」，「**解決に向けてどのような活動を行ったか**」，そこで「**何を体験し、学び、どう成長できたか**」，その体験を基に「**今後どう行動したいと思っているか**」について、**学びの過程**が分かるように記してください。

【学びの例】

- ・ 探究的学習活動やフィールドワーク等（高校での授業含む）
- ・ 文化活動・体育活動（高校での部活動等含む）

課題レポートの評価

🔍 KUGS ポータルサイト

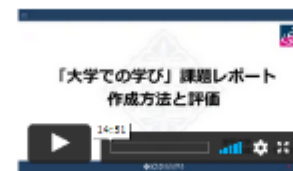


- 課題レポートは、KUGSに基づいて評価します。
- レポートは5段階評価で、レベル1が最低評価、レベル5が最高評価です。
- すべてがレベル2以上であれば、KUGSの基準を満たしたと判断します。基準を満たしていない場合、課題レポートの再提出を求めます（再々提出は認めません）。
- レポートを作成する際には、レベル3を目標にしてください。評価の理由をコメント欄に記載するので、参考にしてください。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
A. 自己の立ち位置を知る能力	倫理観や科学的知見にやや不足があり、自己の位置・使命についての意識も薄い。	倫理観や科学的知見はある程度持っているが、自己の位置や使命についての意識がやや薄い。	倫理観と科学的知見に基づく視野から自己の位置や使命をある程度把握できている。	倫理観と科学的知見に基づく視野から自己の位置や使命を把握できている。	高度な倫理観と科学的知見に基づく広い視野から自己の位置や使命を把握できている。
B. 自己を知り、自己を認める能力	自己の能力への自覚が弱く、将来の目標が立っていないため、自己を向上させる意欲も薄い。	自己の能力への自覚がやや弱く、将来の目標がぼんやりしているため、自己を向上させる意欲は有るが、それを十分に発揮できていない。	自己の能力を自分なりに認識し、将来の目標を持って、目標実現に向けてある程度努力することができている。	自己の能力を認識し、将来の目標を明確化して、目標実現に向けて努力することができている。	自己の能力を客観的に認識し、将来の目標を明確化して、目標実現に向けて十分に努力することができている。
C. 考え・価値観を表現する能力	自身の考えや価値観を表現する力が不十分である。	自身の考えや価値観を表現する力がある。	自身の考えや価値観を表現し、他者に伝える力がある。	自身の考えや価値観を論理的に構成して表現し、他者に伝える力がある。	自身の考えや価値観を論理的に構成して明確に表現し、的確に他者に伝える力がある。
D. 世界とつながる能力	自身の持つ文化への関心が薄く、異文化を理解し、異文化の人々と共生・共育することの必要性も感じていない。	自身の持つ文化への関心はある程度持っているが、異文化を理解し、異文化の人々と共生・共育することへの関心がやや薄い。	自身の持つ文化への関心を持つとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共育することに関心を持っている。	自身の持つ文化への関心を持つとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共育する意欲をもっている。	自身の持つ文化を理解するとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共育する能力を持っている。
E. 未来の課題に取り組んでいく能力	未来の世界への関心が薄く、未来の課題に取り組んでいく必要性も感じていない。	ある特定の観点から未来を予測し、未来の課題に取り組む必要がある程度感じている。	ある特定の観点から未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく意欲もっている。	広い視野から総合的に未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく意欲もっている。	広い視野から総合的に未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく能力もっている。



KUGS 高大接続プログラムの概要と課題レポート



『大学での学び』課題レポート作成方法と評価



『高校での学び』課題レポート作成方法と評価

金沢大学グローバルサイエンスキャンパス GSC



主 催 / 金沢大学

連携機関 / 北陸先端科学技術大学院大学 / 石川県立大学
石川県教育委員会 / 富山県教育委員会 / 福井県
教育委員会 / 新潟県教育委員会 / 長野県教育委
員会 / 岐阜県教育委員会 / 横浜市教育委員会
小松マテーレ株式会社 / 澁谷工業株式会社
中村留精密工業株式会社 / 株式会社PFU
YKK株式会社 / コマツ粟津工場

詳しくはWebサイトをCHECK

<https://gsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



金沢大学グローバルサイエンスキャンパス GSC

YAMAZAKIプラン2020

新たな価値を創造する人材の育成に向けた高大接続改革と入試制度改革

高大接続の観点に立った、高校生に対する先進的教育プログラムを開発・提供

平成28年度採択

「世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成」



内容を強化し、新たなステップへ

令和2年度採択

「人類の未来をつくる独創的研究者の育成」

KUGS高大接続モデルの確立と高校生に対する創造人材育成プログラムの提供






体験ステージ

INTRODUCTORY STAGE



まずは大学での講演を体験し、
プログラムに応募しよう

体験ステージは、金沢大学GSCへの応募に向けた活動の一環として実施されます。本プログラムが求める「特定の分野に深い知識や興味を持つ」応募者へのニーズに対応するため、様々な学習の機会を提供しています。

-  KUGS高大接続プログラム(随時)
-  オンライン説明会における講演(月1回程度)
-  研究所ツアー

概要

実施期間 4月~6月
実施回数 プログラム中に設定
実施場所 オンライン,または金沢大学で実施

1 第1ステージ

THE FIRST STAGE



学術研究に求められる素養を養い、
提案した研究テーマを具体的な計画へと展開

プログラム応募者の中から一次選抜を通過した高校生・高専生を対象に実施します。参加申込時に提案した研究テーマを、明らかにすべき研究課題へと精緻化し、具体的な計画へ展開していきます。また、現代の学術研究に求められる素養を養うため、「総合科目」、「着想科目」、「言語科目」の3つの科目を受講します。

-  学術研究に求められる素養を養い、提案した研究課題を精緻化
-  総合科目
倫理科目
言語科目
70%以内
研究計画の作成

概要

実施期間 8月~11月
実施回数 月2回程度(土曜が日曜)
実施場所 基本的に金沢大学で実施

12月
二次選抜

2年目 1月～11月

第2ステージ(15名)

12月
成果発表
三次選抜
(希望者のみ)

3年目 1-11月

第3ステージ(希望者若干名)

11月
最終報告

2 第2ステージ

THE SECOND STAGE



配属された大学研究室での研究の実施
研究成果の発表や科学コンテストへの参加

第1ステージ受講生の中から二次選抜を通過した者を対象に実施します。本学および連携大学の研究室に配属され、前ステージで精練化した研究計画に沿って研究を行います。研究成果の学会発表や、科学コンテスト等への参加にも挑戦します。更に、選抜された者は国内外での国際学会・シンポジウムで発表する機会が得られます。



研究室での研究の実施
研究成果の発表
科学コンテスト参加



継続研究
マンスリーワークショップ
学会報告・論文投稿
科学コンテスト等への参加

概要

実施期間 2年目 1月～11月
実施形態 月2回程度(土曜含む)
実施場所 研究チームごとに全米大学、JAIST、
名古屋立大学で実施

3 第3ステージ

THE THIRD STAGE



第2ステージの研究を深化させ、
英語論文投稿や国際学会での発表に挑戦

第2ステージの受講生の中から、希望者を対象にこれまでの研究発表と相談を基に選抜を行い実施します。引き続き本学および連携大学の研究室に配属され、自ら設定したテーマのさらなる探求のため研究活動を継続します。本ステージでは最終的な成果を取りまとめ、英語論文投稿や国際学会での発表に挑戦します。



継続研究の更なる深化
英語論文投稿
国際学会での発表



継続研究
マンスリーワークショップ
英語論文の投稿
国際学会での発表

概要

実施期間 3年目 1月～11月
実施形態 研究の進捗に応じて
実施場所 研究チームごとに全米大学、JAIST、
名古屋立大学で実施

🗨️ プログラムを体験して

voice 1

海外研修でタイのバンコクへ!

GSCに参加して印象に残っているのは、海外研修でタイのバンコクに行ったことです。日本語がほぼ通じない環境で、必死に英語でコミュニケーションを図ろうとした経験は大変でしたが非常に楽しいものでした。GSCの研究を通して培った知識は現在行っている研究にも活かしており、非常に有意義な経験を積むことができました。



坂井 啓悟さん

(第Ⅲ期生)

富山大学／啓新高等学校出身

voice 2

とりあえずやってみるという言葉は私の一生の宝物に。

「エアロゾル=目に見えない小さな粒子」について研究を行いました。ご指導いただきました先生からは研究以外にも沢山のことを学ぶことができました。最後に先生から「常に『今しかできないことってなんだろう?』と考えた時、とりあえずやってみる。その繰り返し・・・」という言葉は私の一生の宝物となりました。



柳澤 亮汰さん

(第Ⅳ期生)

東海大学附属諏訪高等学校

voice 3

もっと深く研究したいという気持ちと 研究した事への達成感を得ました!

GSC第2段階の研究を金沢大学の先生や院生の方と行い、JAIST国際シンポジウムで発表した事が一番印象的です。「Wishing for the end of the spread of new coronavirus infection ~Disinfection effectiveness~」発表をし、JWCポスター賞を受賞しました。発表言語が、英語でとても緊張しましたが、今後もこの経験を未来に生かしたいです。



東野 匠真さん

(第IV期生)

石川県立小松明峰高等学校

voice 4

GSCは私の進路決定の きっかけになりました。

金沢大学GSCでは高校の授業や活動では決してできないことを先取りで経験することで、具体的に将来どんなことを学びたいかが鮮明になり、目的意識をもって学習していくことができました。中でも教授との一対一の活動は私にとって、とても刺激的な経験になりました。



池田 世菜さん

(第III期生)

金沢大学/石川県立七尾高等学校出身



修了生たちのその後

減多にない体験ができました。

GSCの活動を通して放射化学という分野の一端に触れるという減多にない体験ができました。そしてこの経験によって将来進みたい道を早々に決めることができました。早くから道を一つに定めることに利点も欠点もありますが、大学1年のときからその道を目指して進めているのでこのGSCでの経験が役に立ったと感じます。



中田 拓希さん

(第II期生)

京都大学/金沢大学附属高等学校出身

興味があった分野で、進路の道標となりました!

GSCの第2ステージでは理工学域物質化学類の精密有機合成化学の研究室に配属させて頂きました。研究内容としてはがん治療薬の開発でしたが、もともと興味があった業関係の内容であり、その後の進路の道標となりました。現在は慶應義塾大学薬学部に在籍し、GSCでの研究をいつかまた行えたらなと思っています。



羽田 茉代さん

(第I期生)

慶應義塾大学/金沢大学附属高等学校出身

金沢大学ジュニアドクター育成塾

平成29年度より

「優れた科学的才能を有した小中学生の発掘と人材育成」

- 主体性を尊重したきめ細かいサポート
提出ノートに向上的コメントを付し返却
- 大学保有の価値を活かした魅力ある講座
施設見学や演習講座
- 充実した修了生へのフォローアップサポート
継続研究制度，マンスリーフォローアップ通信の発行

第6期生募集

金沢大学
KANAZAWA

金沢大学
科学講座

小・中学生対象
金沢大学
ジュニアドクター
育成塾

2022年度より大きく変わります!

科学・技術を担う
探究力をもった
未来の科学者の育成

小・中学生を対象に、
進んで科学・技術に関する
基本的な知識・技術を学び、
それらを活用した探究に
臨みやすく挑戦していく
子どもの育成をめざす
プログラムです。

✓すべて
オンライン講座
✓グループ
ディスカッション
✓自由研究の推進

2022/6/1水～7/8金

募集人数 約20名 参加費用 原則無料

募集対象 石川県・富山県・福井県の中学生
および小学校第5学年以上の児童

応募方法
・志望申請書を事務局まで郵送
・可能であればこれまでの
科学研究レポートを郵送

お問い合わせ
金沢大学ジュニアドクター育成塾事務局
〒920-1192
石川県富山県国府川町金沢大学入道4-6-1
E-mail: jr-doc@kanazawa-u.ac.jp
URL: <http://jr-doc.kanazawa-u.ac.jp/>
Tel: 076-264-5567

スマホからの
利用はこちら→



第1ステージ
オンライン

2022年8月～2023年2月
(日曜日、2回/月) 13:00～15:30

※オンラインによる受講ができる機能が変更になります。

回	月	講座のテーマ等 (50分～90分)	交通 (50分)
1	8月	入塾式/オリエンテーション	
2	9月	物質の性質と温度-極低温の世界-	
3		偏光顕微鏡でみる岩石の世界	
4		身の回りの放射線	
5	10月	薬の数学	
6		音と振動の科学	
7	11月	動物の認知能力を探る	
8		機械の科学	
9	12月	人間と農業	
10		簡単なプログラムとAI	
11		海洋生物学演習	
12	1月	グラフとそのオイラー数	
13		成果発表会の準備	
14	2月	成果発表会/第1ステージ修了式	

科学者との交流または
自由研究に関するグループ交流

※講座の内容や順番や実施日時が変更になります。

第2ステージ
オンライン

2023年4月～2023年8月

第1ステージを修了した受講生に対して、メールやオンラインによる自由研究の支援を金沢大学の助産や教員が行います。研究内容や研究計画が優れている場合は、助産や教員が対面による助言を行うとともに、大学の施設で観望・実験等を行うことができます。

実施機関 金沢大学
石川県教育委員会、金沢市教育委員会、小坂町教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育委員会、公益財団法人金沢子ども科学館、ひととちのつくり科学館（サイエンスヒルズこまつ）、富山県科学博物館、福井県立自然博物館、福井市自然博物館

詳しくは
WEBサイトを
チェック!

<https://jr-doc.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



超然特別入試が求める人材

「①**数学的に特異な才能**を持ち、その才能を生かして**将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲**を持っている人」

又は

「②**文学的に特異な才能**を持ち、その才能を活かして**将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲**を持っている人」

を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

日本数学A-lympiad

- 世界とつながり、よりよい社会を築くため、世界的課題の解決に数学の力で挑戦する、国内では前例の無い「日本数学A-lympiad」を開催しています。
- 一般に普及している数学オリンピックのように純粹で抽象的な数学の知識・技能の高さを個人単位で競い合うものではありません。同じ学校に在籍する**高等学校1, 2年次3~4人がチームを組み**、現在の世界的課題を背景として作成された実社会に起こりうる問題（英文）を読み解き、数学の力を利用して社会にとってより良い解決案を提案します。
- グローバルな課題を発見する力、主体性や活発なコミュニケーションに基づく協働性、レポートを論理的に構成する力、英語力等が総合的に試されます。



日本数学A-lympiad

参加申込：例年10月，
開催：例年11月，開催場所：参加チーム所属校



第3回：令和2年度開催
22校68チーム参加
最優秀賞：1校1チーム
優秀賞：1校1チーム
優良賞：5校9チーム

第4回：令和3年度開催
28校86チーム参加
最優秀賞：1校1チーム(2年4名)
優秀賞：1校1チーム(2年4名)
優良賞：4校8チーム(1年16名, 2年16名)

最優秀賞 第1回 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 1チーム
優秀賞 第2, 3回 金沢大学附属高等学校 1チーム
優良賞 第1回 富山中部高等学校 1チーム, 金沢大学附属高等学校 3チーム
第2回 金沢泉丘高等学校 2チーム, 金沢大学附属高等学校 1チーム
第3回 高岡高等学校 1チーム, 金沢泉丘高等学校 1チーム, 小松高等学校 1チーム
△
第4回 金沢大学附属高等学校 1チーム

超然特別入試:A-lympiad選抜

口述試験

コンテストの入賞実績と各学類が求める要件を満たすことにより出願資格

募集人員若干名
()は令和3年度

学類	共通テスト	入賞以外の要件	志願者	合格者	入学者
先導	X	調査書の 数学, 英語が 各々4.3以上 or 数学, 理科が 各々4.3以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)
観光デザイン	X		0 (-)	0 (-)	0 (-)
人文	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
法	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
経済	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
学校教育	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
国際	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
理工学域全学類	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)
医	○ 85%	調査書の学習成績概評がA 以上	1 (-)	1 (-)	1 (-)
医薬科	X		0 (0)	0 (0)	0 (0)

令和4年度より

超然文学賞



言葉について特異な才能を持ち、日々その才能を磨き、将来「言葉の力」で世に出ることを強く望む高校生の優れた才能を讃え、その志を勇気づける。

第5回超然文学賞

- 応募締切 令和4年8月19日
- 結果発表 令和4年10月7日
- 1 - 3 年生が対象



令和3年度第4回超然文学賞の結果

小説部門 応募28作品

	氏名	作品名	所属学校・学年
最優秀賞	寺田 舜	可惜夜の夢	小松市立高等学校3年
優秀賞	堀 万里絵	真夏の缶ジュース	石川県立金沢錦丘高等学校3年
優秀賞	富藤 すず	硝子人間	大阪府立富田林高等学校1年
佳作	前田 伶衣	不平等な二人	富山県立南砺福野高等学校3年
佳作	西村 和人	その味は	富山県立南砺福野高等学校1年
佳作	磯部 廉	ゴッホ量産型社会	長野県野沢北高等学校3年

短歌部門 応募23作品

	氏名	作品名	所属学校・学年
最優秀賞	加藤 千晶	母の名	石川県立金沢錦丘高等学校3年
優秀賞	岡 奎那	一方通行	渋谷教育学園渋谷高等学校3年
優秀賞	渡邊 美愛	青春病	愛知県立旭丘高等学校2年
佳作	山田 真滉	宙	名古屋高等学校1年
佳作	芳谷 優斗	チーズケーキの行列	名古屋高等学校1年
佳作	片山 藍美	青の純度	鳥取県立鳥取東高等学校年

超然特別入試：超然文学選抜 (共通テストを課さない)

コンテストの入賞実績と各学類が求める要件を満たすことにより出願資格

募集人員若干名

()は令和3年度

学類	入賞以外の要件	口述以外	志願者	合格者	入学者
先導	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)
観光デザイン	-	-	0 (-)	0 (-)	0 (-)
人文	-	小論文	4 (6)	4 (5)	4 (5)
学校教育	R4年度 より→ 調査書の英語4.3以上	-	1 (1)	1 (0)	1 (0)
国際	-	-	1 (0)	1 (0)	1 (0)

■テーブル：はくちょう座■

テーマ：「金沢大学の入学者選抜試験」

金沢大学の入学者選抜試験

令和4年7月

ステークホルダー協議会分科会「はくちょう座」



金沢大学の入学者選抜試験

1. 一般選抜（前期日程）

- 学類・専攻毎の選抜
- 文系一括・理系一括選抜：少数科目・大学での学びを通じた経過選択性
- 調査書に対する主体性等評価の導入：他者と協働して学ぶ態度や積極性を評価
- 大学入学共通テスト英語での英語外部検定試験利用（任意）：4技能習得の促進

2. KUGS特別入試

- KUGS高大接続プログラム修了により出願資格・口述試験重視の入試

3. 超然特別入試

- 金沢大学コンテスト受賞者：数学・文学に特異な才能を持つ人材の受け入れ



多様な能力・価値観を持つ学生が切磋琢磨する環境の構築
主体的に学ぶ態度の評価

なぜ入試が変ってきているのか

文部科学省Q & A https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/koudai/detail/1402115.htm

「高大接続改革」とはどのような改革ですか？

グローバル化の進展や人工知能技術をはじめとする技術革新などに伴い、社会構造も急速に、かつ大きく変革しており、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要です。このためには、『学力の3要素』（1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を育成・評価することが重要であり、義務教育段階から一貫した理念の下、「学力の3要素」を高校教育で確実に育成し、大学教育で更なる伸長を図るため、それをつなぐ大学入学者選抜においても、多面的・総合的に評価するという一体的な改革を進めていく必要があります。

知識・技能



主体性・協働する態度

思考力・判断力・表現力

知識・技能

1.一般選抜（前期日程）

1. 一般選抜 令和3(2021)年度入試より後期日程を廃止

- 「金沢大学で学びたい」受験生の受け入れを拡大
- 志願者増加により倍率は維持
- 1年次の成績等において後期日程廃止の目立った変化なし：学生の水準も維持

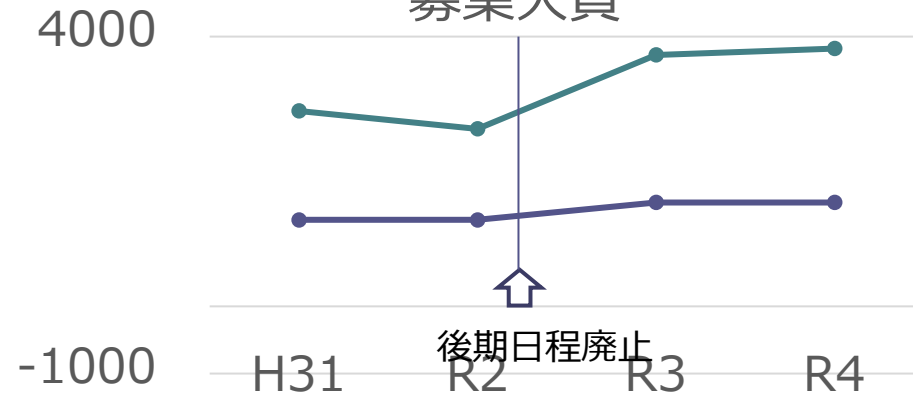
後期日程廃止



入試年度	H31	R2	R3	R4
志願倍率	2.26	2.05	2.42	2.48
募集人員	1281	1281	1539	1539
志願者	2897	2631	3729	3823

前期日程の志願倍率

● 募集人員



1.一般選抜（前期日程）

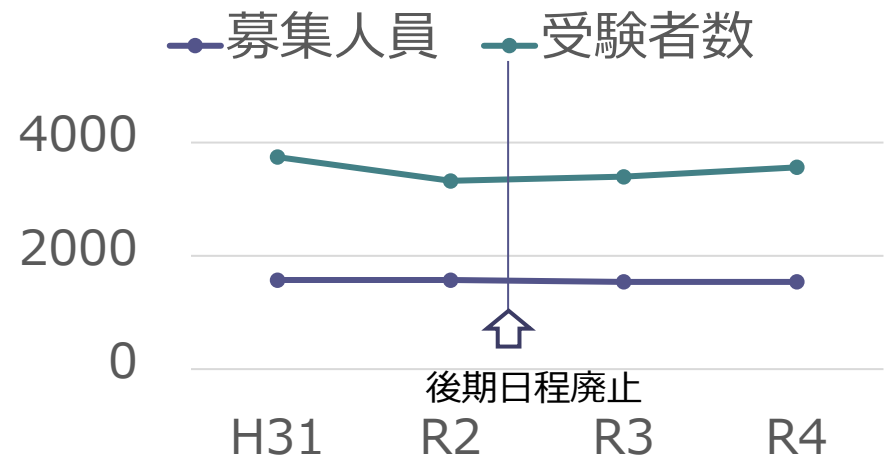
- 一般選抜 令和3(2021)年度入試より後期日程を廃止
 - 後期日程（高倍率）を廃止した後もほぼ同程度の「受験者数」を前期日程で確保

後期日程廃止



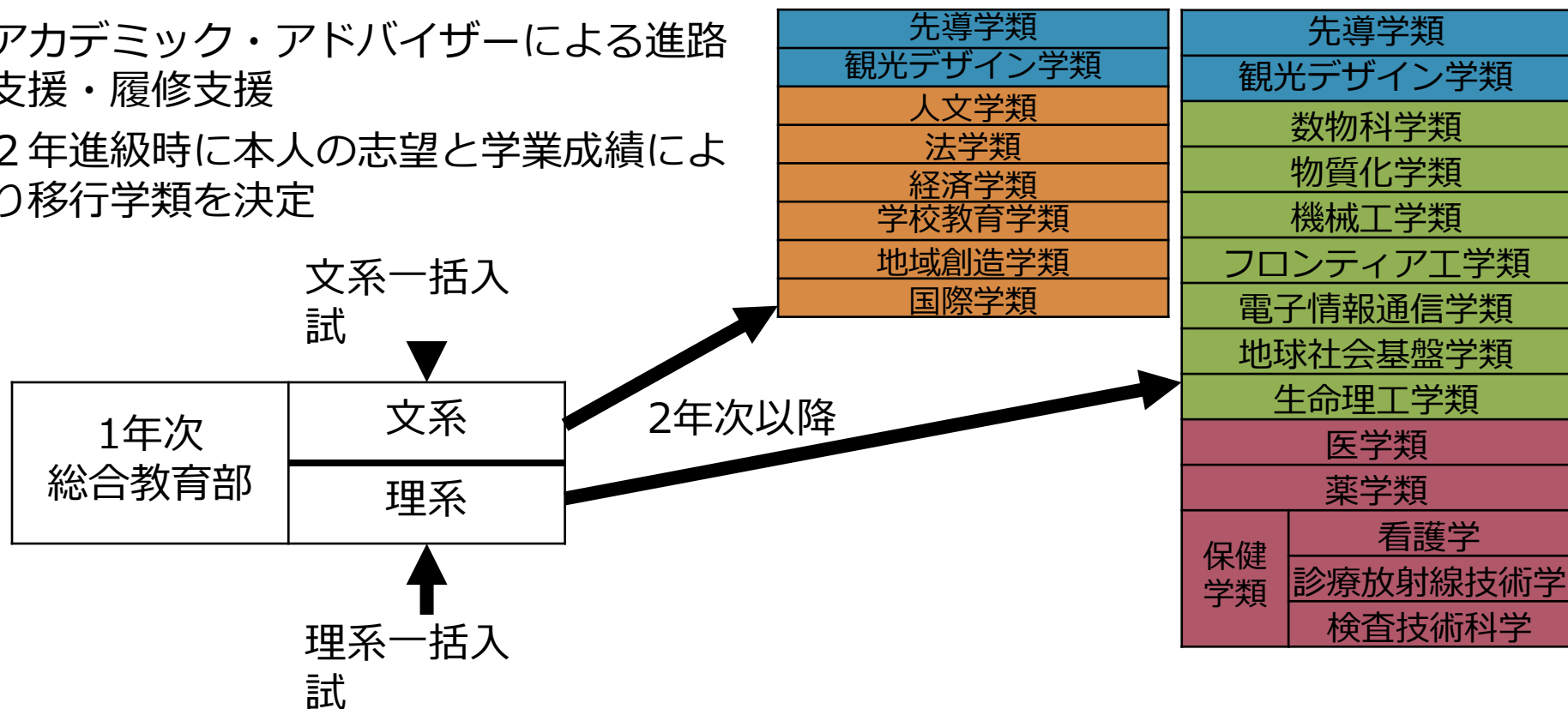
入試年度	H31	R2	R3	R4
一般選抜 募集人員	1571	1571	1539	1539
受験者数	3743	3322	3397	3562

一般選抜全体の受験者数



1.一般選抜（前期日程）：一括入試（学類等・人数は昨年度入試の場合）

- 1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属
- アカデミック・アドバイザーによる進路支援・履修支援
- 2年進級時に本人の志望と学業成績により移行学類を決定



1.一般選抜：調査書の評価による主体性等評価（昨年度入試の説明）

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、高等学校等から提出された「調査書」を次の通り活用します。

(i) 主体性等評価における調査書の点数化

- ① 新しい様式の調査書（以下「新調査書」という。）の記入欄に対応した評価項目を設定し、点数化します。
- ② 新調査書における「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」, 「6. 特別活動の記録」, 「7. 指導上参考となる諸事項」及び「8. 備考」欄に記入された肯定的意見を点数化します。また、既卒者が提出する現行の調査書についても、対応する記入欄の記述内容を点数化します。
- ③ それぞれの項目における具体的な活動内容、活動期間、役職名等について客観的な基準を設けて評価します。
- ④ 主体性等評価の配点は、全学統一して、大学入学共通テストと個別学力検査の合計配点の概ね2%とします。
- ⑤ 学力検査の合計点により合否のボーダー層を抽出し、このボーダー層の志願者にのみ主体性等評価の得点を加算して合否を判定します。

昨年度学生募集要項抜粋

1.調査書の評価による主体性等評価

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、高等学校等から提出された「調査書」を次の通り活用します。

- 評価対象はボーダー層のみ
- 総点の概ね2%
- 肯定的意見のみを評価
- 客観的基準を設けて評価

調査書の提出状況	提出者				
	提出日				
特別活動の記録	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
調査書の活用状況	第1学年	(1)学習活動に関する取組等	(2)行状の発展、向上等	(3)特別活動、行事の参加等	(4)進路指導、進路実現等
		(5)その他	(6)その他	(7)その他	(8)その他
	第2学年	(1)学習活動に関する取組等	(2)行状の発展、向上等	(3)特別活動、行事の参加等	(4)進路指導、進路実現等
		(5)その他	(6)その他	(7)その他	(8)その他
	第3学年	(1)学習活動に関する取組等	(2)行状の発展、向上等	(3)特別活動、行事の参加等	(4)進路指導、進路実現等
		(5)その他	(6)その他	(7)その他	(8)その他
	第4学年	(1)学習活動に関する取組等	(2)行状の発展、向上等	(3)特別活動、行事の参加等	(4)進路指導、進路実現等
		(5)その他	(6)その他	(7)その他	(8)その他
	その他	(1)学習活動に関する取組等	(2)行状の発展、向上等	(3)特別活動、行事の参加等	(4)進路指導、進路実現等
		(5)その他	(6)その他	(7)その他	(8)その他

- (1) 主体性等評価における調査書の点数化
- ① 新しい様式の調査書（以下「新調査書」という。）の記入欄に対応した評価項目を設定し、点数化します。
 - ② 新調査書における「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」、「6. 特別活動の記録」、「7. 指導上参考となる諸事項」及び「8. 備考」欄に記入された肯定的意見を点数化します。また、既卒者が提出する現行の調査書についても、対応する記入欄の記述内容を点数化します。
 - ③ それぞれの項目における具体的な活動内容、活動期間、役職名等について客観的な基準を設けて評価します。
 - ④ 主体性等評価の配点は、全学統一して、**大学入学共通テストと個別学力検査の合計配点の概ね2%**とします。
 - ⑤ 学力検査の合計点により**合格のボーダー層を抽出し、このボーダー層の志願者**にのみ主体性等評価の得点を加算して**合格を判定**します。

1. 大学入学共通テスト英語：英語外部検定試験の利用（任意）

- 英語4技能を測定する以下の英語外部検定試験のスコアを提出可能
- 本学の換算基準にしたがって共通テスト英語と得点の高い方を利用
- 検定試験のスコアを提出する場合でも共通テスト英語の受験は必要

ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定, GTEC (CBT), IELTS, TEAP (4技能), TEAP (CBT), TOEFL iBT



**英語4技能の習得
複数回の挑戦機会**

5. 大学入学共通テストの「英語」での英語外部試験の利用については次のとおりです。

(1) 大学入学共通テストの「英語」について、次の表に○で示す学域・学類等においては、英語外部試験で一定以上のスコア*の場合、スコアの提出を認めます。

対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、IELTS、TEAP（4技能又はCBT）、TOEFL iBT（Home Edition含む）です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

*本学が求める一定以上のスコア：

ケンブリッジ英語検定：140、実用英語技能検定：1950、GTEC（CBT）：960、IELTS：4.0、TEAP（4技能）：225、TEAP（CBT）：420、TOEFL iBT：42

○上記の英語外部試験のスコアの提出を認める試験区分

学域・学類等		前期日程	学域・学類等		前期日程
総合学域	先端学類	○	理工学域	数物科学類	○
	観光デザイン学類（仮称）	○		物質化学類	○
人間社会学域	人文学類	○	理工学域	理工3学類一括入試 〔機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類〕	○
	法学類	—		地球社会基盤学類	○
	経済学類	○		生命理工学類	○
	学校教育学類	○	医薬保健学域	医学類	—
	地域創造学類	○		薬学類	—
	国際学類	○		医薬科学類	—
			保健学類	○	
			〔文系一括、理系一括〕入試	○	

(注) — は英語外部試験を利用しない学類です。

2.KUGS特別入試

Kanazawa University “Global” Standard

- 世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材育成のための教育方針
- 共通教育科目におけるGlobal Standard (GS) 科目として、KUGS の能力を育成するための6つの科目群を設定

金沢大学〈グローバル〉スタンダード



① 自己の立ち位置を知る
② 自己を知り、自己を鍛える
③ 考え・価値観を表現する
④ 世界とつながる
⑤ 未来の課題に取り組む
New ⑥ 新しい社会を生きる

KUGS特別入試が求める人材

1. 基礎的知識・技能を修得し、それらを活用して自ら課題を発見し、探究する能力を備えている人
2. 将来に明確な目標を持っており、主体的に行動し、他者と協働しながら、自身の夢を実現しようとする強い意欲を持っている人

を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。



口述試験重視の選抜

KUGS特別入試の選抜タイプと出願資格

	出願資格
KUGS特別入試 <ul style="list-style-type: none"> • 総合型選抜Ⅰ・Ⅱ • 学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ • 英語総合選抜Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ：共通テストを課さない Ⅱ：共通テストを課す 	①KUGS 高大接続プログラムの修了他 or ②GSCの第一段階の修了他

一般選抜（前期日程）との併願が可能

- 一般選抜（前期日程）の前に合格発表・入学手続き
- 合格して入学手続きを行うと前期日程の受験は無効となります

KUGS特別入試の出願資格：高大接続プログラムへの参加



①KUGS高大接続プログラムを修了する

- 大学の講義等を受講してレポート
 - 高校での学びを振り返るレポート
- } 両方の基準達成



修了

or

②グローバル・サイエンス・キャンパスの第1段階を修了する

- 学術研究に必要な素養を養う授業や実習
- プログラム受講者独自の研究テーマの計画

※金沢大学GSCの例



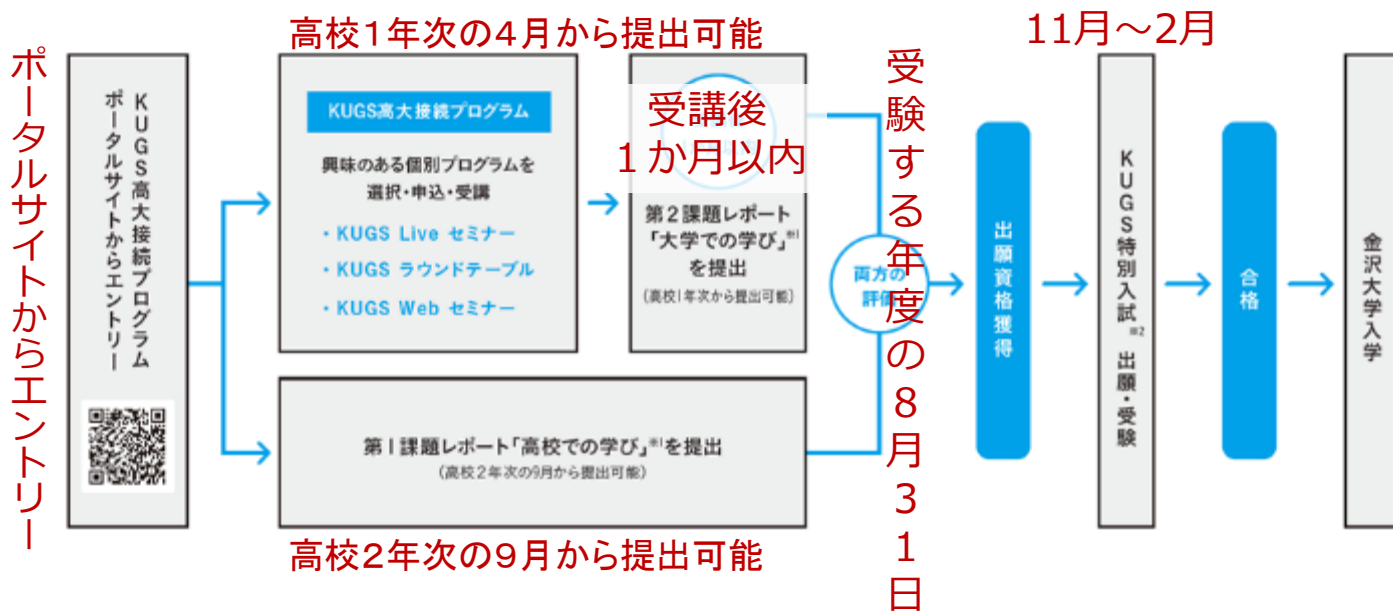
第1段階修了



KUGS特別入試の出願資格①：KUGS高大接続プログラムの修了

「高校での学び」のレポートと、KUGS高大接続プログラムの受講に基づく「大学での学び」のレポートを提出し、両方が評価基準を満たすと出願資格。提出期限は受験する年度の8月31日

(8月31日までに1回目の課題レポートを提出していれば、再提出になった場合でも、評価から2週間以内に再提出して基準を満たせば、出願資格を獲得できます。)



KUGS高大接続プログラム

- 「大学での学び」のレポートを作成するために受講が必要
- 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）の能力を育成するために開発した本学独自の高大接続プログラム

① KUGS Liveセミナー〈対面又はオンライン参加型〉

様々な分野の知見を大学教員から直接学ぶことができます。金沢大学サテライト・プラザなどで開講しています。

② KUGS Webセミナー 〈Web視聴型〉

KUGS高大接続プログラムポータルサイトを通じて、いつでもどこからでも何回でも視聴可能なオンデマンド講義です。

③ KUGSラウンドテーブル〈対面又はオンライン参加型〉

テーマに基づいて自由な意見交換や議論を行うとともに、小グループ内で発表を行い、学修の振り返りを行います。



KUGS高大接続プログラム:Webセミナーの例

- 受験する学類等にかかわらず，どのセミナーを受講してもOK

台湾の自然・文化と土砂災害

モンゴルの四季と環境汚染

アメリカの消費社会と人間への健康リスク

高山湖の環境変化とチベット族の生活

文明起源の考古学 第5回 マヤ文明の起源

スパコンが拓く新しいものづくりとエコ社会

有機分子が彩る生活

西アジアの博物館と文化資源を守ることの意義とは何か？

地域計画論演習導入講義－政策手段と「ナッジ」－

スイスの歴史－そのはじまり－

文明起源の考古学第2回 中国文明の起源

金沢大学が切り開く次世代水産業

火星の水はどんな味？

環日本海交流2000年の歴史－北陸と対岸との関係を中心に－

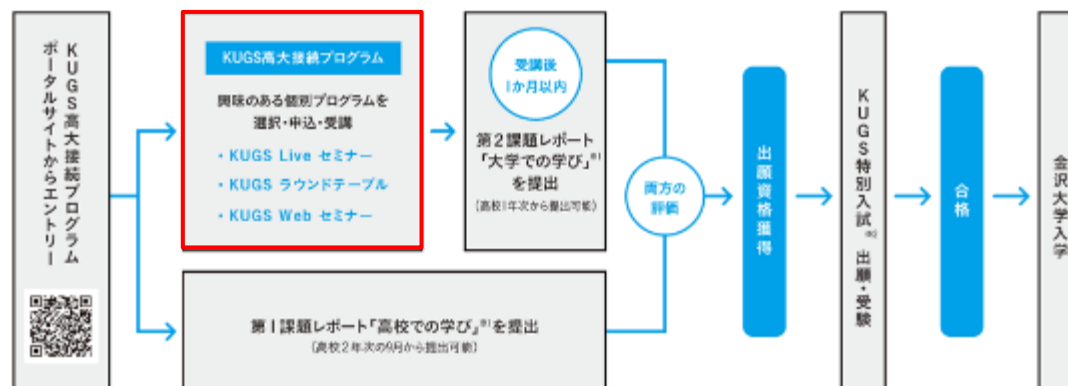
哲学とは何か？

深海熱水噴出孔に生きる生物

臨床心理学入門

整数論とその広がり

生命の情報を読み取る～生命情報工学～



「大学での学び」課題レポート

受講した**個別プログラム**の振り返りを行い，そこで学んだことについて課題レポートを作成し，提出してください（1,000～1,400字）。

『本文』には，初めに「**受講した個別プログラムの要約**」を200～300字程度で記してください。

その上で，「**受講して気づいた課題（問題）**」と「**その課題（問題）を解決するために必要と思われる方策**」について，**あなた自身の考えを根拠に基づき具体的に**まとめてください。

レポートにはこれらの内容をすべて含んでいる必要があります

「高校での学び」課題レポート

あなたが**高校生活の中で課題意識を持って解決に取り組んでいる学び**について、課題レポートを作成し、提出してください（1,000～1,400字）。

『題名』には「あなたが高校で取り組んだ（取り組んでいる）課題」を記してください。

『本文』には、あなたが「**その課題を発見した経緯**」，「**解決に向けてどのような活動を行ったか**」，そこで「**何を体験し、学び、どう成長できたか**」，その体験を基に「**今後どう行動したいと思っているか**」について、**学びの過程が分かるように**記してください。

レポートにはこれらの内容をすべて含んでいる必要があります

【例】探究的学習活動等（高校での授業含む），文化活動・体育活動（高校での部活動等含む），ボランティア活動など。**注意：探求的学習のレポートの要約をそのまま提出しても十分には評価されません。**

課題レポートの評価

- 課題レポートは、KUGSに基づくルーブリック（ポータルサイトで公開）で評価します。
- 1ヶ月を目処に評価をお返しします。評価コメントも返されるので修正の参考にしてください。ポータルサイトから質問したり、オンライン面談を予約することも可能です。
- 各観点は5段階評価。レベル3（大学生の標準）を目標としてください。すべての観点の評価がレベル2以上であれば基準を満たしたと認定されます。1つ以上の観점에서レベル1がある場合、2週間以内のレポートの再提出を求めます。
- 「未来の課題に取り組む能力」と「新しい社会を生きる能力」はいずれかの観点で評価しますので、どちらかが内容に含まれていれば構いません

	レベル1	レベル2	レベル3 (一般的な大学生相当)	レベル4 (優秀な大学生相当)	レベル5 (大卒・大学院生相当)
A. 自己の立ち位置を知る能力	倫理観や科学的知見にやや不足が有り、自己の位置・使命についての意識も薄い。	倫理観や科学的知見はある程度持っているが、自己の位置や使命についての意識がやや薄い。	倫理観と科学的知見に基づく視野から自己の位置や使命を一定程度把握できている。	倫理観と科学的知見に基づく視野から自己の位置や使命を把握できている。	高度な倫理観と科学的知見に基づく広く深い視野から自己の位置や使命を把握できている。
B. 自己を知り、自己を鍛える能力	自己の能力への自覚が弱く、将来の目標が立っていないため、自己を向上させる意欲も薄い。	自己の能力への自覚がやや弱く、将来の目標がぼんやりしているため、自己を向上させる意欲は有るが、それを十分に発揮できていない。	自己の能力を自分なりに認識し、将来の目標を持って、目標実現に向けてある程度努力することができる。	自己の能力を認識し、将来の目標を明確化して、目標実現に向けて努力することができる。	自己の能力を客観的に認識し、将来の目標を明確化して、目標実現に向けて十分に努力することができる。
C. 考え・価値観を表現する能力	自身の考えや価値観を表現する力が不十分である。	自身の考えや価値観を表現する力がある。	自身の考えや価値観を表現し、他者に伝える力がある。	自身の考えや価値観を論理的に構成して表現し、他者に伝える力がある。	自身の考えや価値観を論理的に構成して明確に表現し、的確に他者に伝える力がある。
D. 世界とつながる能力	自身の持つ文化への関心が薄く、異文化を理解し、異文化の人々と共生・共存することの必要性も感じていない。	自身の持つ文化への関心を一定程度持っているが、異文化を理解し、異文化の人々と共生・共存することへの関心がやや薄い。	自身の持つ文化への関心を持つとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共存することに関心を持っている。	自身の持つ文化への関心を持つとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共存する意欲をもっている。	自身の持つ文化を理解するとともに異文化を理解し、異文化の人々と共生・共存する能力を持っている。
E. 未来の課題に取り組む能力※	未来の世界への関心が薄く、未来の課題に取り組んでいく必要性も感じていない。	ある特定の観点から未来を予測し、未来の課題に取り組む必要性をある程度感じている。	ある特定の観点から未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく意欲をもっている。	広い視野から総合的に未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく意欲をもっている。	広い視野から総合的に未来を予測し、未来の課題に取り組んでいく能力をもっている。
F. 新しい社会を生きる能力※	変化する新しい社会や技術への関心が薄く、新しい情報や技術を習得したり、それらを駆使して社会的課題を解決する必要性も感じていない。	変化する新しい社会や技術への関心を持っており、新しい情報や技術を習得したり、それらを駆使して社会的課題を解決することへの関心がやや薄い。	変化する新しい社会や技術への関心を持つとともに、新しい情報や技術を習得したり、それらを駆使して社会的課題を解決することに関心を持っている。	変化する新しい社会や技術について関心と基本的な理解を持つとともに、新しい情報や技術を習得したり、それらを駆使して社会的課題を解決することに意欲を持っている。	変化する新しい社会や技術への理解を持っており、新しい情報や技術を習得したり、それらを駆使して社会的課題を解決する能力を持っている。

KUGS高大接続プログラムへの早期の継続的な取り組みを強く推奨

KUGS特別入試

- ×レポートを2本書いて合格する能力があると受験資格が得られる
- KUGS高大接続プログラムを通じて大学で学ぶための基礎的能力を修得すると受験資格が得られる

1. 大学で学ぶ学問分野に触れ、自らの興味を明確にする
2. 高校での活動を振り返ることで自分の成長を確認し、将来への展望を持つ
3. 大学で課されるレポートを書くための基礎的能力を修得する



- **高校生が十分に持っていない知識の獲得や思考力・表現力の育成が目的**
- 最初から基準を満たすレポートが書けなくても当たり前：プログラムの受講やレポートの執筆を繰り返しながら知識や能力を身につける
- **一定の時間をかけてプログラムに参加することが必要**

出願書類

志願理由書や活動報告書等の提出が必要

活動報告書

- (1) 学校内で主体的に取り組んだ活動（例：「総合的な学習の時間」、生徒会・委員会活動、学校行事等）：グループでの活動の場合、グループの中でどのような役割を果たしたのか具体的に記入してください。
- (2) その他の主体的に取り組んだ活動（例：ボランティア活動、部活動等、各種競技会・コンクール、留学・海外経験等）：表彰・顕彰、参加・出場した競技会・大会・コンクール等で実績がある場合には、その成績も記入してください。グループでの活動の場合、グループの中でどのような役割を果たしたのか具体的に記入してください。なお、部活動には地域の文化・芸術・スポーツ活動を含めます。
- (3) 課題研究等に関する活動：課題テーマを選んだ理由、概要・成果を記入してください。グループでの活動の場合、グループの中でどのような役割を果たしたのか具体的に記入してください。
- (4) 取得資格・検定等

出願を目指すならある程度の準備期間が必要な内容

KUGS特別入試の出願資格②：GSCの第1段階の修了

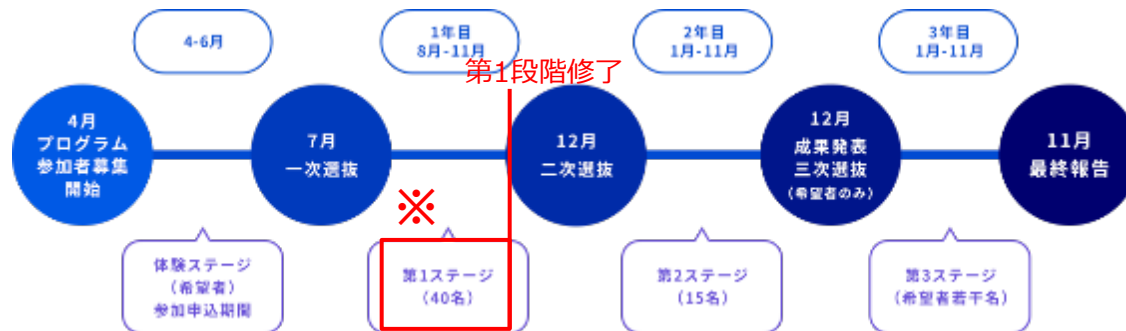
グローバルサイエンスキャンパス（GSC）の第1段階※を修了

- 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC）は、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、地域で卓越した意欲・能力を有する高校生や高専生等を対象に、国際的な活動を含む高度で体系的な学修と実践を提供する高大接続理数教育プログラムです。



- 金沢大学以外のGSCの当該段階の修了者も出願可能
(R3年度の実施機関の例:東北大学, 宇都宮大学, 千葉大学, 東京大学, 東京農工大学, 慶應義塾大学, 名古屋大学, 神戸大学, 広島大学, 愛媛大学, 九州大学, 琉球大学)

金沢大学GSC
高校1-2年生が対象



3. 超然特別入試

金沢大学コンテストの入賞者を対象とした特別選抜

- 日本数学A-lympiad

- A-lympiad選抜



- 超然文学賞

- 超然文学選抜



3. 超然特別入試: A-lympiad選抜

コンテストの入賞実績と各学類が求める要件を満たすことにより出願資格



- 金沢大学では「世界とつながりより良い社会を築くため、数学を活用して現実課題を解決する能力」を競う、「日本数学A-lympiad」を開催しています。
- 同じ学校に在籍する3～4人がチームを組み、現在の世界的課題を背景として作成された実社会に起こりうる問題を読み解き、数学の力を利用して社会にとってより良い解決案を提案します。

第4回：令和3年度開催

- 28校86チーム参加
- 最優秀賞：1校1チーム
- 優秀賞：1校1チーム
- 優良賞：4校8チーム

上位チームをオランダで開催される国際大会（Math A-lympiad）に日本代表として派遣



3. 超然特別入試: A-lympiad選抜



第5回日本数学 A-lympiad

参加申込 令和4年10月予定

結果発表 令和4年12月下旬予定

1・2年生対象

- A-lympiad選抜 I (共通テストを課さない)
融合学域全学類, 人文, 法, 経済, 学校教育, 国際,
理工学域全学類, 医薬科 (いずれも若干名)
令和4年度入試: 志願者なし
- A-lympiad選抜 II (共通テストを課す)
医学類 (若干名)
令和4年度入試: 1名受験・1名合格

3. 超然特別入試：超然文学選抜 (共通テストを課さない)

コンテストの入賞実績と各学類が求める要件を満たすことにより出願資格



言葉について特異な才能を持ち、日々その才能を磨き、将来「言葉の力」で世に出ることを強く望む高校生の優れた才能を讃え、その志を勇気づける。

第4回超然文学賞

- ・ 応募締切 令和4年8月19日
- ・ 結果発表 令和4年10月7日
- ・ 1 - 3年生が対象 (3年生もR5入試可能)

令和3年度：第4回の結果

小説部門	短歌部門
最優秀賞：1作品	最優秀賞：1作品
優秀賞：2作品	優秀賞：2作品
佳作：3作品	佳作：3作品



3. 超然特別入試：超然文学選抜



- 共通テストを課さない
- 口述試験・小論文による選抜

令和4年度入試の結果

学域	学類	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
融合学域	先導学類	若干名	0	0	0
	観光デザイン学類	若干名	0	0	0
人間社会学域	人文学類	若干名	4	4	4
	学校教育学類	若干名	1	1	1
	国際学類	若干名	1	1	1

各選抜の特徴

1. KUGS特別選抜：大学で学びたいことについて目標がはっきりしている。主体的に他者と協働しようとする意欲を持つ人。口述試験重視
2. 一般選抜（前期日程）：学びたいことが学類レベルで決まっている人。学力試験（共通テスト、個別試験）の比較的広い教科・科目
3. 一般選抜（前期日程）の一括入試：大学に入ってから学類を決めたい。学力試験（共通テスト、個別試験）の絞られた教科・科目
4. 超然特別選抜：学びたい学類が決まっている。文学または数学に特異な才能を持つ人。口述試験中心の選抜。



多様な才能・価値観を持つ学生が切磋琢磨する環境

その他の選抜

- 薬学類：高大院接続入試
 - 博士後期課程までの一貫した教育を受けて薬学教育・研究者を志す者
- 在外留学生推薦入試
- 社会人選抜
- 帰国生徒選抜
- 国際バカロレア入試
 - スイスのジュネーブに本部を置く「国際バカロレア機構が提供する課程の合格が受験資格
- 私費外国人留学生入試

事前質問 (1)

Q.現在、子どもは4回生ですが、入学した当時と現在ではコロナの影響で様変わりしています。学校側としてもコロナ禍における教育を色々考えながら進められて来たと思われませんが、あらためてコロナ禍における金沢大学の経営の考え方や進め方、それらの成果並びに今後の経営方針を伺いたい。

事前質問 (2)

Q.先生方の働き方改革によって、土日の出勤はもちろん、平日の時間外に、学校への連絡も難しくなる旨の説明を受けております。趣旨は理解しておりますが、一方で保護者や子どもにとっては、従来よりは、先生方とのコミュニケーションのハードルが上がるのではと感じています。効果は未知数ですが、例えば、フレックスやシフト勤務、時差出勤などの採用や、時間外に対応できる人を別途採用されるなど何か方法がありましたらご検討を宜しくお願い致します。

■ テーブル：てんびん座 ■

テーマ：地域イノベーション創出に向けて大学に期待すること

令和4年度ステークホルダー協議会
分科会（16:35-17:15）

グループ名：てんびん座

【分科会テーマ】

地域イノベーション創出に向けて大学に期待すること

【背景】

北経連が掲げた「人々が豊かで幸せに暮らす北陸」実現のために、大学の知を活用したイノベーションによる新産業創出や地域課題解決の取り組みが求められている。

【ステークホルダーの皆様にお伺いしたいこと】

- ・ 金沢大学に何が期待されるか？何が足りないか？
- ・ 地域企業に何が必要か？

【キーワード】

地域創生、地域ニーズ、オープンイノベーション、新事業創出、起業、大学の社会貢献、新産業のシーズ、高度技術人材、経営・支援人材

全体構造

概要

金沢大学未来ビジョン『志』

オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

大学憲章に掲げる基本理念に立脚し、金沢大学が目指す播るぎない未来ビジョンを示しています。

研究：独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

教育：社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

経営：人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



「イノベーション・コモンズ」のイメージ

「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」とは

- あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレイヤーが**共に創造活動を展開**する「共創」の拠点
- 教育研究施設だけでなく、食堂や寮、屋外空間等も含め **キャンパス全体が有機的に連携**した「共創」の拠点
- **ソフトとハードが一体**となって取り込まれる「共創」の拠点

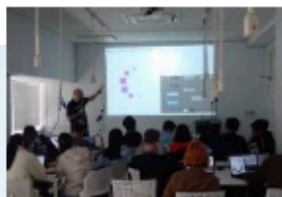
⇒多様な学生・研究者や異なる研究分野の「共創」、地域・産業界との「共創」の促進等により、教育研究の**高度化・多様化・国際化**、**地方創生**や**新事業・新産業の創出**に貢献



学生同士の
アクティブ・ラーニング



集中して学修
できるスペース



文理融合した
新たな教育



食堂での
ランチミーティング



ICTによる
コミュニケーション



国際寮における
日常的な国際交流



研究室の枠を越えた
コラボレーションを生み出す
オープンスペース

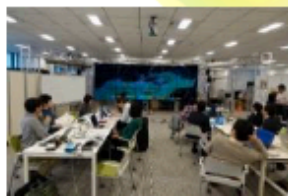


出典： <http://www.kyushu-u.ac.jp/f/32758/2018to.pdf>



屋外の交流空間

出典：
http://shinshu.yyu.ac.jp/gaiougai/chiho/wb/sy/2024j/kouji/yoshuho/kyuuryu/28_hyaku-uhiroba_kokuzai/kyugou2.pdf



他大学や企業等との
オープン・ラボ



地元企業との交流会



構内道路を活用した実証実験

出典：<https://www.kyushu-u.ac.jp/39/topics/view/1152>



地域に開かれたキャンパス



地域への公開講座

北陸経済連合会の『志』 (第五次中期アクションプランより)

北陸近未来ビジョン ~2030年代中頃の北陸のありたい姿~



生産性向上

AI・IoT

グローバル

ダイバーシティ&
インクルージョン

高速交通網

2. 北陸企業の労働生産性の向上と成長

(1) AI、IoT等のデジタル化

(2) 産学官連携によるデジタル人材育成

(3) オープンイノベーション

- ・ 北陸の企業・大学との域内連携および経団連との連携協定に基づく大企業との連携支援等

(4) 新事業創出

- ・ 産学官連携による新たな価値創出、事業化に向けた取組みへの支援
- ・ 新事業創出に資する規制緩和に関する要望活動

(5) 市場開拓

- ・ 海外ニーズ調査
- ・ 広域観光

(6) 付加価値向上、労働生産性向上のための企業変革

北陸未来共創フォーラムとは

[トップページ](#) > 北陸未来共創フォーラムとは

DIVERSITY × INNOVATION

北陸未来共創フォーラムとは、地方創生に向けて、
多種多様な北陸のプレーヤーが出会い、交流するための
「産学官金プラットフォーム（地域連携プラットフォーム）」です。

オール北陸で新産業創出や人材育成に取り組み、日本の未来社会に向けた地方創生モデルを示したい。
そんな熱意の下、民間企業、金融機関、公益団体、自治体、教育研究機関など北陸地域に拠点を置く者たちがつながり、
共に語り、学び、気づきあうための「出会いの場」を創ります。

フォーラムの 活動コンセプト

1. 北陸地域における「地方創生」に対する強い意欲と貢献心をもって活動します。
2. 1つの大学や、企業、機関、団体だけではなく、皆で取り組むという意志をもって活動します。
3. 「出会いの場」という趣旨のもと、持続的かつ中長期的な視野をもって活動します。

【分科会テーマ】

地域イノベーション創出に向けて大学に期待すること

【背景】

北経連が掲げた「人々が豊かで幸せに暮らす北陸」実現のために、大学の知を活用したイノベーションによる新産業創出や地域課題解決の取り組みが求められている。

【ステークホルダーの皆様にお伺いしたいこと】

- ・ 金沢大学に何が期待されるか？何が足りないか？
- ・ 地域企業に何が必要か？

【キーワード】

地域創生、地域ニーズ、オープンイノベーション、新事業創出、起業、大学の社会貢献、新産業のシーズ、高度技術人材、経営・支援人材

■テーブル：いて座■

テーマ：「産学連携と地元定着支援」

テーマ：

「産学連携と地元定着支援」

内容：

（1）TLO/KUTLO の展開

① 本学の TLO/KUTLO の
取組状況と課題

② TLO に対する地域の期待
(参加者の方からのご意見)

【事前に頂いたご意見】

★5 貴学は、今後実質的に機能する TLO を具備する
必要性は感じて居られますか。



「TLOとは」

TLO=Technology License Organizationの略。
技術移転機関。大学等の技術を産業界に移転するための機関のこと。

具体的には、大学の研究成果を特許化し、民間企業とライセンス契約などを締結して製品やサービスとして実施し、その対価によりさらなる研究を推進するための組織

特許庁が承認・認定したTLOが全国に32機関ある。

金沢大学関連：

「（有）金沢大学ティ・エル・オー」

(<http://kutlo.co.jp>)

A C C E S S



角間キャンパスのご案内

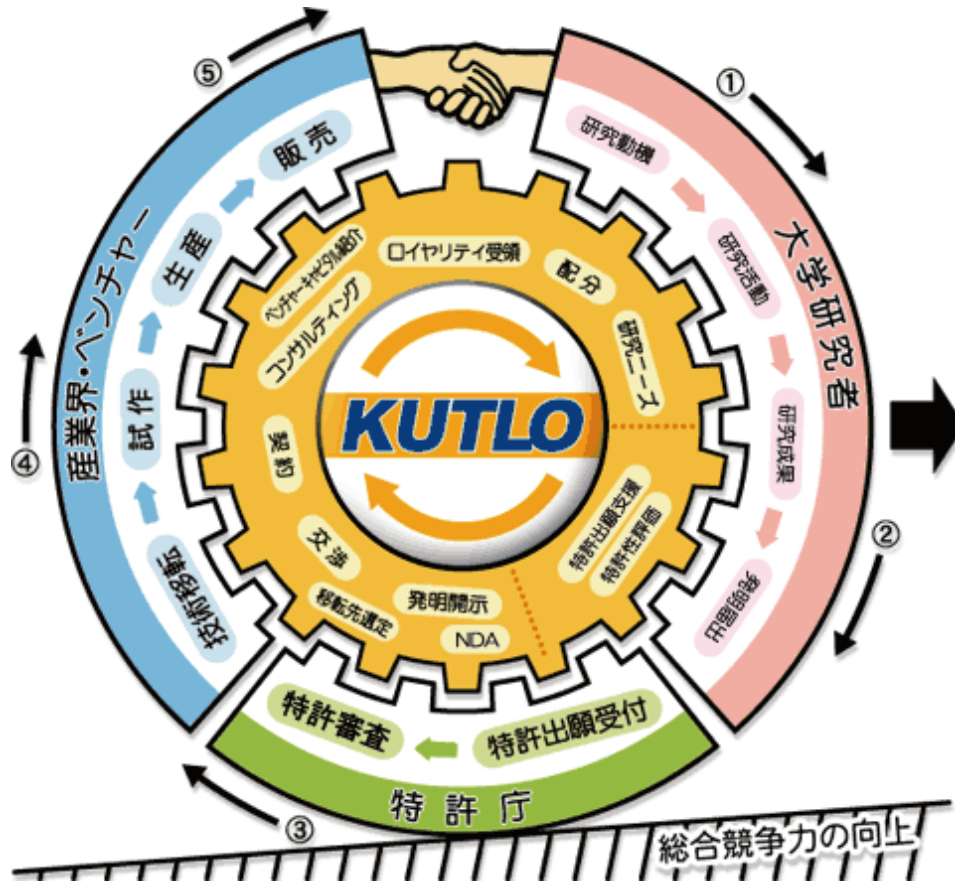
KUTLO

キユトロ Kanazawa University
Technology
Licensing
Organization

金沢大学ティ・エル・オー

金沢大学の技術シーズをお探ですか？
新製品、新規事業、製品の改良にお役立てください。

金沢大学ティ・エル・オーは「大学等における技術に関する研究成果を民間事業者への移転の促進に関する法律（通称：大学等技術移転促進法）」に基づき、大学等における研究成果を特許化し、それを企業にライセンス供与することを通じて、新産業の創出や新商品の開発、あるいは活性化を図るとともに、その利益が発明者や大学等に還元され再び研究活動に充当され、そして新たな研究成果を生み出すという、知的財産サイクルの推進を事業目的としています。形態といたしまして、金沢大学とは独立した組織ですが、金沢大学と深く業務提携をする**有限会社**であります。金沢大学の教員等が出資者となっております。



kutlo.co.jp

関連事業の流れと KUTLO の役割



業務内容

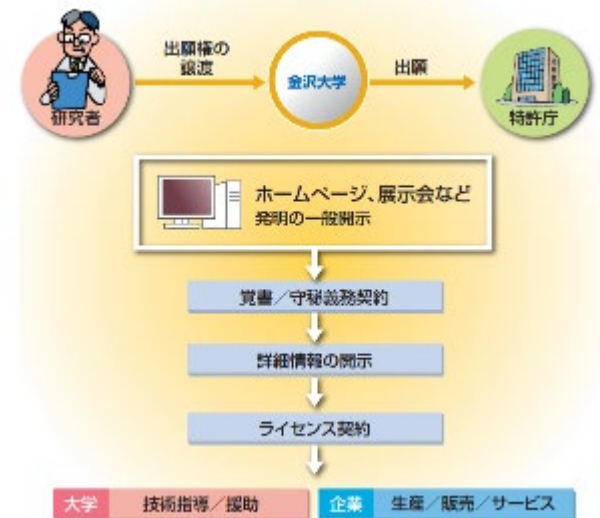
- ① 教員等の発明の特許・知的財産権取得、維持、管理支援
- ② 研究成果物、特許等の譲渡、ライセンス契約、技術援助契約の締結支援
- ③ 科学技術・産業等の講演会、セミナー開催、講師選定派遣
- ④ 産学連携のコンサルティング、情報分析評価 など。

KUTLOは産学連携、技術移転のための様々な活動を支援します。

KUTLO の特徴

- ベンチャー・中小企業から大企業まで多数のライセンス実績
- 海外企業への積極的なライセンス活動
- ライセンスング・アソシエイト制度
産官学連携に精通した、ライセンスング・アソシエイトが発明の発掘から出願、特許管理、ライセンス交渉、実用化まで支援を行います。

発明情報の開示から技術移転までの流れ



KUTLO 活動実績



高速原子間力顕微鏡 (技術移転成果)



ピッチングマシン (技術移転成果)



電磁界可視化装置 (技術移転成果)



O-ベンジル化剤 (技術移転成果)



海外展示会での出展 (発明開示の様子)

金沢大学TLOの実情と課題

発明届出・特許出願件数

平成 14～19 年度比較(年度別)

■ 届出件数
■ 出願件数



スタッフ 5名 (兼任含む)
大学の保有特許 約360件

H24以降は、平均約90件/年届け出、約60件/年出願
実施契約 15～25件/年
大学の特許収入 2000万円/年程度

ご意見

貴学は、今後実質的に機能する TLO を具備する必要性は感じて居られますか。

その他あればお願いします。

【ディスカッション】

TLOは、将来の大学の「経営自立化」のひとつの手段とも考えられています。

- ・ 大学からの発明を増やすには何が必要でしょうか？
- ・ 大学の発明を企業へ売り込むにはどのような工夫があるでしょうか？
- ・ スタートアップ（ベンチャー）を創出するには？

■テーブル：さそり座■

テーマ：「今後の学修支援と学修環境整備の在り方」

金沢大学ステークホルダー協議会

◆ 分科会 「さそり座」

◆ テーマ「今後の学修支援と学修環境整備の在り方」

新しい授業評価アンケート，卒業・修了者アンケート，就業先アンケート，学生生活実態調査などのモニタリング調査について紹介し，今後の学修成果等の可視化と，留学なども含む学修支援策，福利厚生を含む学修環境整備について議論する

人間社会研究域長・学域長	三浦 要
ファシリテーター / 学長補佐	片岡 邦重
ファシリテーター / 学長補佐	足立 英彦

✓ **テーマ説明** : 16:35~16:45

✓ **意見交換** : 16:45~17:15

1. **新授業評価アンケートについて**

2. **学生生活実態調査について**

施設・設備, 福利厚生施設など

3. **留学生, 留学・語学学修支援など**

4. **その他の意見交換**

- ✓ 学修成果や教育成果を定量的かつ定性的に把握・可視化し、教育を改善・充実するための調査

レベル	教育目標・学修目標	アセスメント
大学全体レベル	金沢大学 ＜グローバル＞スタンダード	学生生活実態調査 卒業・修了後アンケート 就業先アンケート
学位プログラム レベル	学位授与方針（DP）	卒業・修了生アンケート DP達成度自己評価
授業科目レベル	シラバスに示された学修目標	授業評価アンケート

✓ トピックス

- ◆ 2021年度 **学生生活実態調査**結果の公表
- ◆ 2021年度 卒業生アンケート，卒業後アンケート実施
- ◆ **授業評価アンケート**を刷新し，Q1から実施

✓ 設問を全学共通化

1. 授業内容の適切性

この授業は、あらかじめシラバスに示された学修目標や授業計画に沿って行われましたか？

2. 担当教員の説明の仕方

この授業における教員の説明の仕方は、分かりやすいものでしたか？

3. 授業外学修時間

この授業について、授業外学修（授業の予習・復習，レポート作成，試験勉強などを含む）をどれくらい行いましたか？

4. 授業理解度

この授業の内容を、よく理解できましたか？

5. 学修目標達成度

この授業であなたは、シラバスに記載された学修目標を達成できましたか？

6. 授業満足度

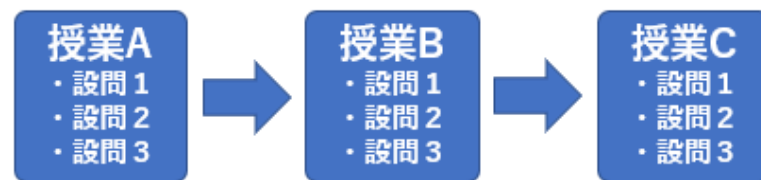
この授業の内容は、満足できるものでしたか？

7. 授業全般に関する自由記述

この授業に関する感想や要望等があれば、具体的に記述してください。

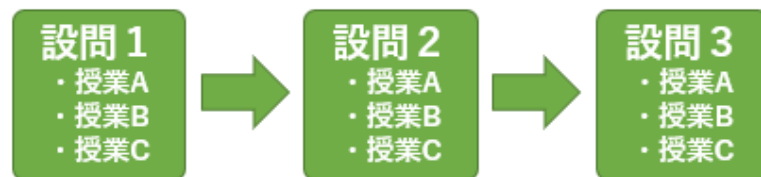
✓ 回答スタイルを一新

1つの科目の全設問に回答し、次の科目に移る



NEW

1つの設問を全科目に回答し、次の設問に移る

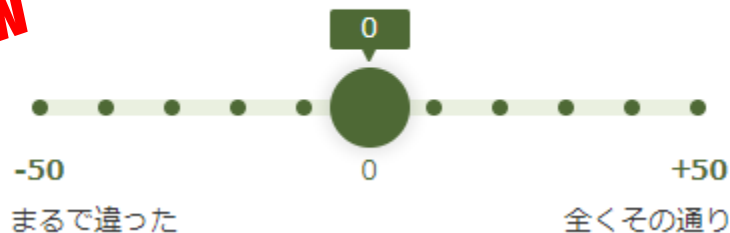


✓ 回答方法を一新

スライダーバーによる**100段階**の回答

アントレプレナー演習 I / 大竹 茂樹 他
(Q1 / 金4~5, 集中)

NEW



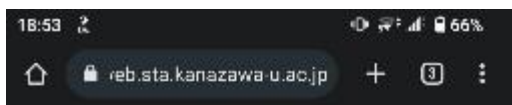


一般アンケート

	アンケート名	回答期限
1	ALC MetAcademy NEXT (TOEIC®L&Rテスト突破コース(500点・600点・730点))の継続利用申請	回答 2023/03/25
2	※返金必要※ 本学独自の「緊急学生支援金」申請フォーム (Application Form for Kanazawa University Emergency Student Support Loan)【令和4年6月分(Jun)】	回答 2022/06/30
3	【留学生申込用】7/7 (Thu) Application for exchange events for international students and researchers 留学生等交流イベント参加申込	回答 2022/07/01

授業アンケート

	アンケート名	回答期限
1	【融合学域】令和4年度Q1授業評価アンケート	再回答 2022/06/30 (必須)



【融合学域】令和4年度Q1 授業評価アンケート

本アンケートは、授業に対する皆さんの理解度や満足度を知ることによって、翌年度の授業の内容や教授方法の改善に役立てるものです。成績評価には一切関係ありません。率直なご意見をお寄せください。

回答期間
2022/05/23 ~ 2022/06/30

設問数
/問
アンケート区分
匿名アンケート

Q1. 授業内容の適切性 必須
この授業は、あらかじめシラバスに示された学習目標や授業計画に沿って行われましたか？

アントレプレナー演習I/テスト 数回
(Q1/金4~5,集中)

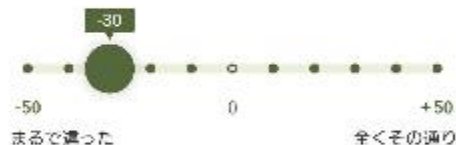
0/7

次の設問へ >

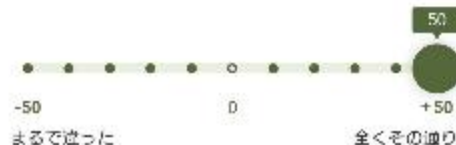


Q1. 授業内容の適切性 必須
この授業は、あらかじめシラバスに示された学習目標や授業計画に沿って行われましたか？

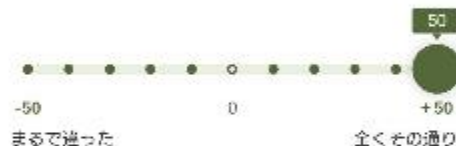
(Q1/水3)



人工知能/テスト 数回
(Q1/火5)



世界変革技術論/テスト 数回
(Q1/水3)



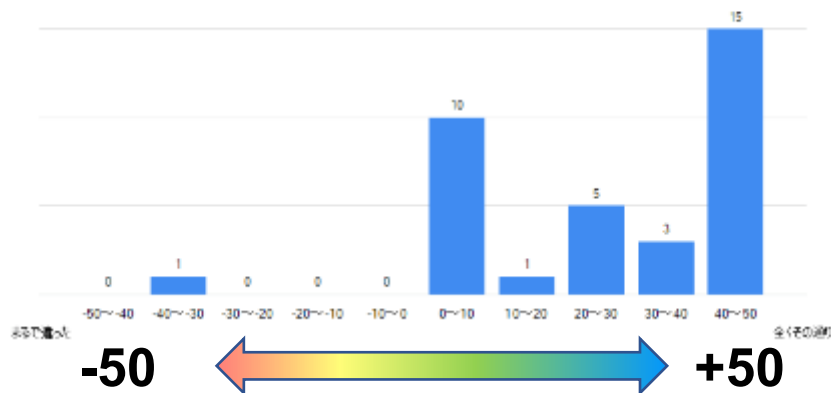
0/7

次の設問へ >

授業内容の適切性

Q1 この授業は、あらかじめシラバスに示された学修目標や授業計画に沿って行われましたか？ **【必須入力】**

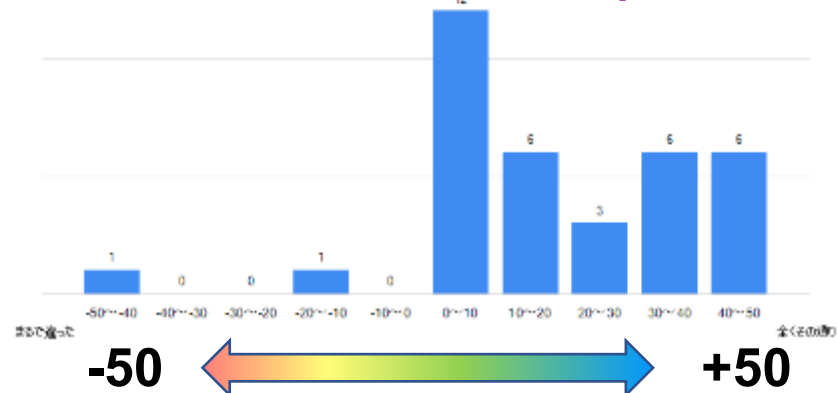
1. 授業内容の適切性



担当教員の説明の仕方

Q2 この授業における教員の説明の仕方は、分かりやすいものでしたか？ **【必須入力】**

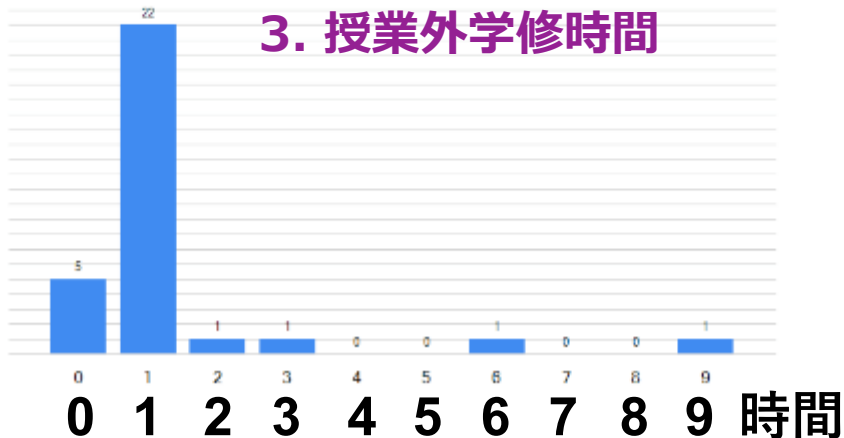
2. 担当教員の説明の仕方



授業外学修時間

Q3 この授業について、授業外学修（授業の予習・復習、レポート作成、試験勉強などを含む）をどれくらい行か？ 総時間を平均し、授業1回あたりの時間に換算してお答えください。 **【必須入力】**

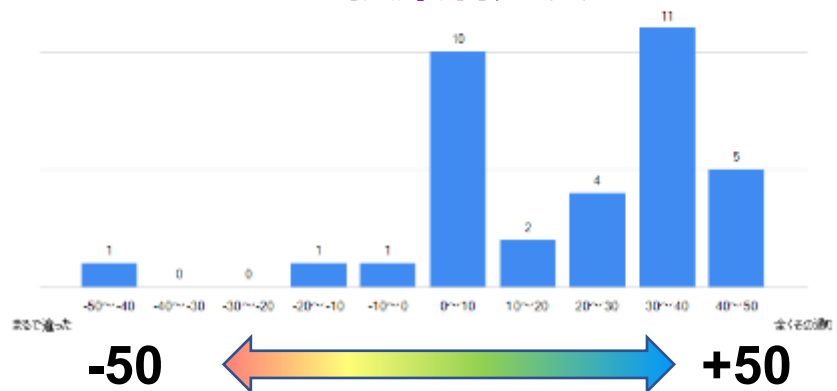
3. 授業外学修時間



授業満足度

Q6 この授業の内容は、満足できるものでしたか？ **【必須入力】**

6. 授業満足度



授業内容の適切性

Q1 この授業は、あらかじめシラバスに示された学修目標や授業計画に沿って行われましたか？ **【必須入力】**

1. 授業内容の適切性



担当教員の説明の仕方

Q2 この授業における教員の説明の仕方は、分かりやすいものでしたか？ **【必須入力】**

2. 担当教員の説明の仕方



アンケート回答率UP!

人間社会学域：約3倍

理工学域：約4倍

医薬保健学域：約2倍

授業外学修時間

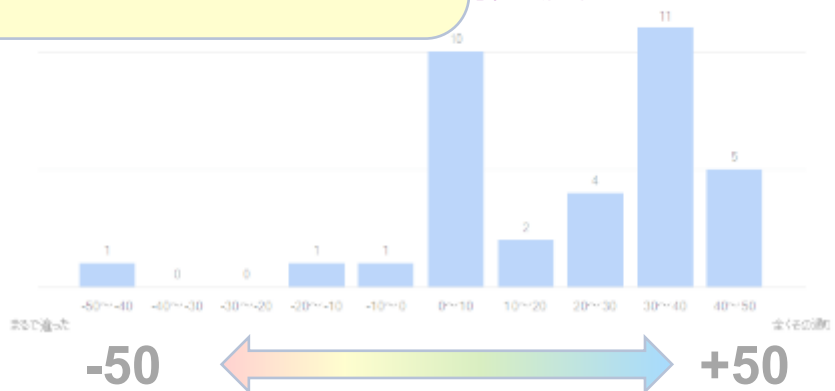
Q3 この授業について、授業外学修（授業の予習・復習）にかける時間を平均し、授業1回あたりの時間に換算して評価しますか？

3. 授業外学修時間



満足度

満足度





■ 調査の目的

本学における**学生生活環境の一層の充実に資するため**、
学生の日常生活上の生活実態等を調査する

■ 回答対象者：本学の全学類生：7,773人（2021年5月1日時点）

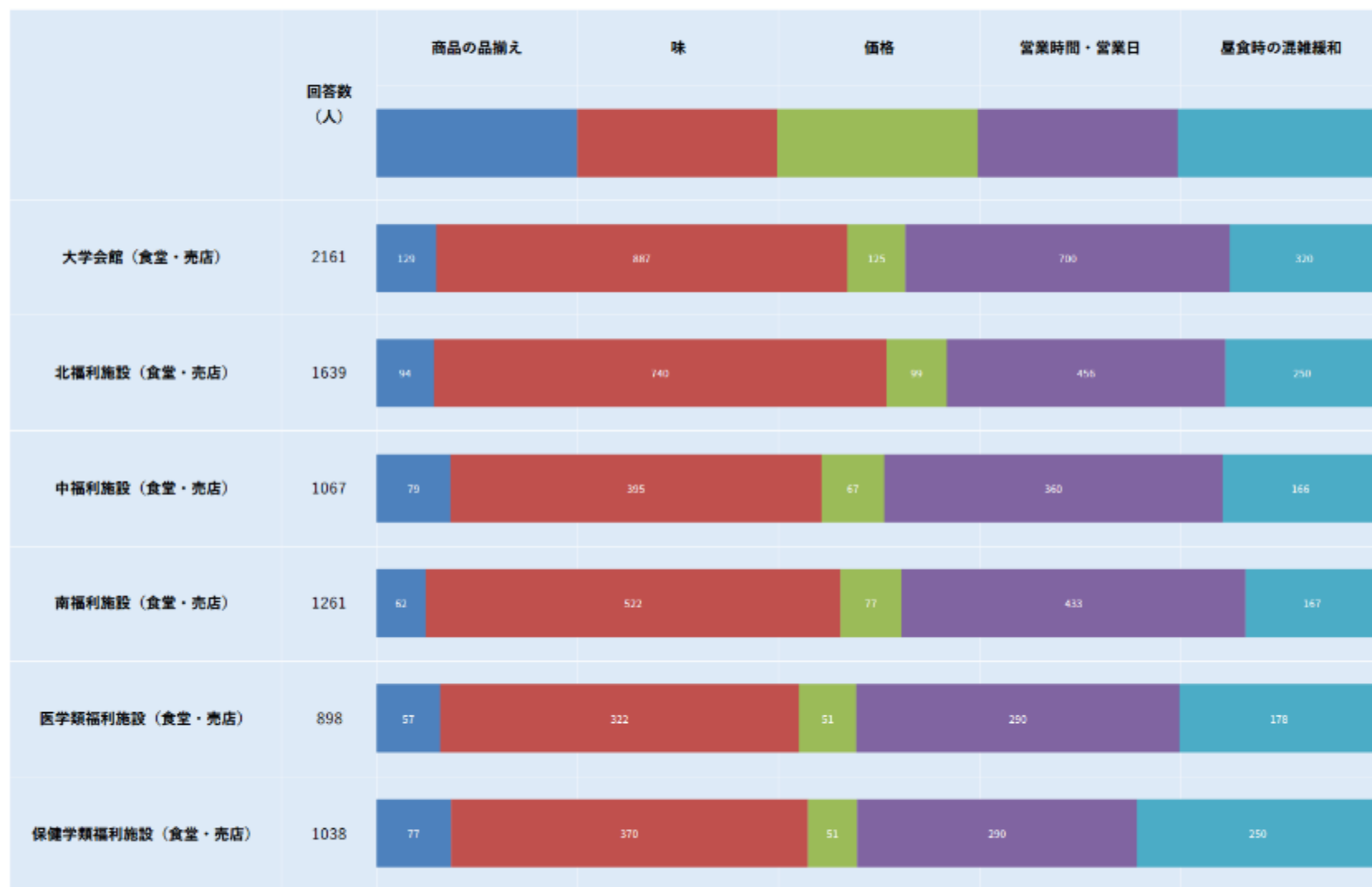
■ 調査方法：アキャンサスポータル上での自記入式調査（35問）

■ 調査期間：2021年10月1日～2021年11月30日

■ 回答数：4,167件（回答率：53.6%）

（「ほとんど利用しない」「意見なし」除く）

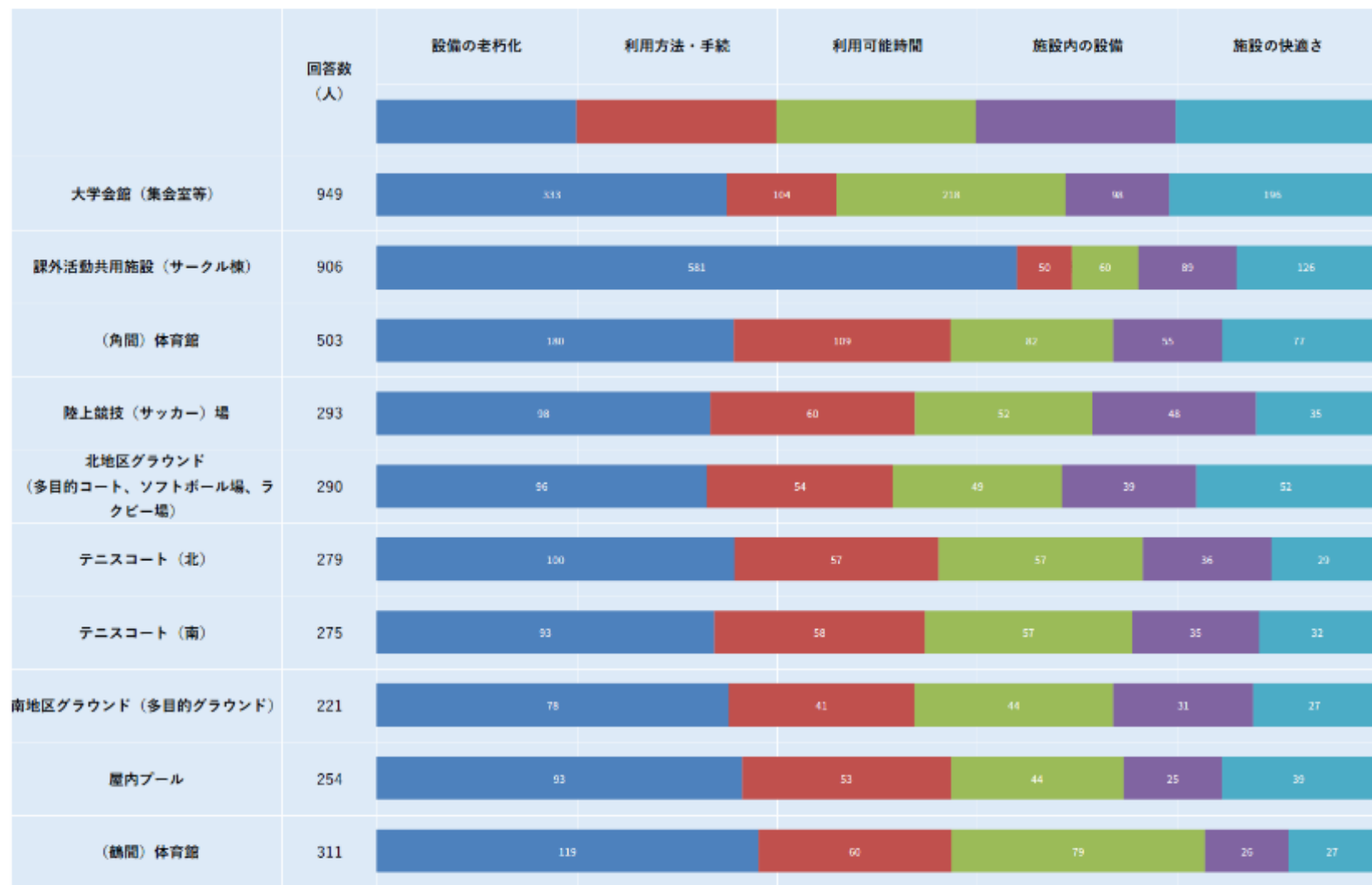
■ 充実してほしい事の上位は「味」「営業時間・営業日」「昼食時の混雑緩和」



※1 改組前の学類は、「機械工学類」「電子情報通信学類」「地域社会基盤学類」「生命理工学類」で集計しています。 ※2 「薬学類・創薬科学類」は2・3年生（「薬学類」「創薬科学類」各）、「薬学類」は4-6年生、「創薬科学類」は4年生を集計しています。

（「ほとんど利用しない」「意見なし」除く）

■ 充実してほしい事の上位は「設備の劣化」「利用可能時間」「施設の快適さ」



※1 改組前の学部は、「機械工学科」「電子情報通信学科」「地域社会基盤学科」「生命理工学科」で集計しています。 ※2 「薬学部・創薬科学類」は2・3年生（「薬学部」「創薬科学類」含）、「薬学部」は4-6年生、「創薬科学類」は4年生を集計しています。

学生の思い

- ・大切に考えている事の上位
⇒「授業」「趣味・娯楽」「友人との交流」
- ・充実度が高いもの
⇒「趣味・娯楽」「友人との交流」「授業」
- ・充実度が低いもの
⇒「学外の課外活動」「お金を蓄えること」「授業以外の勉強」

卒業後の進路

- ・卒業後の進路希望
⇒文系では「民間企業」「公務員」、理系では「大学院進学」、医療系では「専門職」への進路希望が多い
- ・働く希望エリア
⇒文系・医療系では「石川県」「北陸三県」、理系では「関東・甲信」希望が多い

アルバイト

- ・アルバイト行っている割合
⇒約64.3%の学生が継続的にアルバイトを行っている
- ・平均的なアルバイト日数
⇒約46.4%の学生が週3日以上アルバイトを行っている
- ・アルバイトにより支障が生じている物
⇒「授業に関する予習・復習」「趣味・娯楽」「友人との交流」

課外活動、福利厚生施設

- ・参加状況
⇒約46.8%の学生が学内の課外活動（公認）
約18.2%の学生が学内の任意団体（非公認）
約10.2%の学生が学外の課外活動に参加している
- ・施設に充実してほしいこと（食堂・売店）
⇒「味」「営業時間・営業日」「昼食時の混雑緩和」
- ・施設に充実してほしいこと（課外活動施設）
⇒「施設の劣化」「利用可能時間」「施設の快適さ」

✓学外機関へ要望書提出

- ◆石川県県央土木総合事務所： 県道の街灯増設、街灯付近の街路樹剪定
※街路樹剪定は実施予定との連絡受
- ◆金沢大学生生活協同組合： 食堂及び売店等に対する要望
- ◆北陸鉄道株式会社： 北鉄バスに対する要望
※遅延等状況を確認するとの連絡受
- ◆苗加不動産： まめバス及びシャトルバスに対する要望

✓学内へは要望及び情報提供

- ◆財務部： 自動販売機契約に対する要望
※次年度契約更新時に確認、交渉予定との連絡受
- ◆施設部： 学内施設等の安全対策に対する要望
- ◆情報部： 附属図書館に対する要望
- ◆各学域担当学生課： 学務関連に対する要望

※交通安全にかかる注意喚起や課外活動施設等に対する要望は、対応等を検討中

✓ **テーマ説明** : 16:35~16:45

✓ **意見交換** : 16:45~17:15

1. **新授業評価アンケートについて**

2. **学生生活実態調査について**

施設・設備, 福利厚生施設など

3. **留学生, 留学・語学学修支援など**

4. **その他の意見交換**